

# 全 員 協 議 会 会 議 次 第

日 時：令和8年6月9日 午前9時  
場 所：全員協議会室

## 1 開 会

## 2 協議事項

- (1) 株式会社信州東御市振興公社決算報告について (資料No.1) 9:00～9:15  
【 産業経済部(振興公社) 】
- (2) 一般社団法人信州とうみ観光協会決算報告について (資料No.2) 9:15～9:30  
【 産業経済部 (観光協会) 】
- (3) 公益財団法人身体教育医学研究所決算報告について (資料No.3) 9:30～9:40  
【 健康福祉部(身体教育医学研究所) 】
- (4) 社会福祉法人みまき福社会決算報告について (資料No.4) 9:40～9:50  
【 健康福祉部(みまき福社会) 】
- (5) 株式会社エコパワーとうみ決算報告について (資料No.5) 9:50～10:00  
【 市民生活部(エコパワーとうみ) 】
- (6) 東御市土地開発公社決算報告について (資料No.6) 10:00～10:10  
【 総務部(土地開発公社) 】
- (7) 防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業について (資料No.7) 10:10～10:25  
【 総務部 】
- (8) 宿泊交流拠点施設の整備について (資料No.8) 10:25～10:40  
【 企画振興部 】

( 10:40～ 休憩 ～ 10:55)

(9) 柵津湯の丸バイパスについて (資料No.9)

10:55～11:10

【 都市整備部 】

(10) 長野県による耐震改修補助金の算定誤りに係る対応について (資料No.10) 11:10～11:25

【 都市整備部 】

資料 No. 1

# 第 32 期 事 業 報 告

自 2025年4月 1日

至 2026年3月31日

株式会社信州東御市振興公社

## 第 32 期 事 業 報 告

### 1. 事業の概要

わが国の経済は、年度当初の米国の関税引上げという逆風に見舞われながらも、輸出と設備投資の持ち直しを背景に、景気は緩やかな回復基調を示しました。一方で賃金や物価上昇が企業のコスト負担を押し上げ、中小企業を中心に収益の圧迫が続きました。消費者物価指数は前年度比 3.2% 上昇、実質賃金はマイナス圏にとどまり、個人消費の回復は弱めでした。人手不足を背景に、省力化投資やデジタル化が進んだものの、物価高とコスト増が景気の重荷となった一年でした。

当社においては、大田区休養村とうぶを除く指定管理施設（市内 4 つの温泉施設）については、4 月からの入館料値上げの影響もあり、利用者数は減少しました。ビール事業においては、物価高の影響から個人消費が落ち込み、減収となりました。

このような状況の中、施設の効率化やスタッフの適材適所の配置を徹底し、経費の管理に努めたものの、原材料費、光熱水費及び人件費の増などにより、前期に比べ減収減益となり、赤字決算となりました。

以下、今期の主要事業の業務内容は、次のとおりでした。

#### ① オラホビール事業

出荷量は、前期比 19.7% 減の 394,474ℓ。このうち内製商品は、前期比 11.4% 減の 212,472ℓ。委託商品のキャプテンクロウは 30.3% 減の 92,145ℓ、雷電カンヌキ I P A は 24.6% 減の 89,856ℓ でした。売上は、前期比 18.0% 減の 291,060 千円でした。減少要因は、需要の読み違いや消費者の嗜好変化、クラフトビール市場への大手の参入による競争激化など、複数の要因が影響したほか、原材料や資材の値上がり、委託醸造先の値上げなどにより、4 月に価格改定を行いました。売上が前年を下回る月が多くなり、収支は大幅に悪化しました。

来期は、10 月の酒税法改正に併せ価格改定を行います。その際キャプテンクロウのリニューアルを実施し、商品イメージの刷新を図り、市場の確保を目指します。また、2026 年はオラホビール発売 30 周年にあたり、記念企画を実施してまいります。

## ② 大田区休養村とうぶ管理運営事業

利用者数は、前期比 3.8% 増の 27,483 人となりました。一般利用者は、前期比 4.2% 増の 17,107 人、大田区立小学校の移動教室は、前期比 3.0% 増の 10,376 人でした。上期は、夏休みのスポーツ合宿等は、既存の利用に加え、新規の団体の利用により、増加となりました。下期は、同窓会や一般の団体利用者が増加し、冬季オリンピックの好影響でウィンタースポーツ目当てのファミリー層の利用も増加しました。また、お客様満足度向上のため、ビンゴ大会やスポーツ大会などの参加型イベントやクラフトビールの試飲会を実施しました。区民バスツアーは、9 回催行し、284 人の参加がありました。自主事業売上は、前期比 6.7% 増の 82,933 千円となりました。

## ③ 東御市農林漁業体験実習館「湯楽里館」管理運営事業

利用者数は、前期比 3.0% 減の 218,151 人、入館料収入は、前期比 4.8% 増の 95,739 千円となりました。4 月から入館料の価格改定があり、上期は値上げの影響を受け、利用者減の要因となりました。また、回数券の販売は、前年度末の駆け込み購入の反動(8,170 千円減)がありましたが、当日券は、9,926 千円増、市発行優待券は、2,073 千円増となりました。

自主事業収入は、前期比 3.7% 減の 125,767 千円となりました。飲食部門(食堂・宴会)は、利用者減が要因となり減少しました。物販部門(売店・物産ショップ)は、オラホビールの特別価格販売の継続により維持しました。

集客に向けた取り組みは、開館 30 周年の入館料割引(毎月 26 日、大人 500 円)やマルシェなどの野外イベントなどを実施しました。

来期は、売上に見合った経費の管理及び人件費のコントロールに取り組み、収支の改善に努めてまいります。

## ④ ふるさと納税事業

ふるさと納税の返礼品売上は、前期比 22.7% 減の 9,792 千円となりました。オラホビールの訳あり特価品の投入を随時行いましたが、10 月からの制度改正(ポータルサイトのポイント付与停止)による影響を補填するに至らず、減額となりました。

来期は、内製商品(キャプテックロウ DDH 含む)の売上増加に繋がるよう、出品アイテムの充実及び新規顧客の取り込みを図ってまいります。

⑤ 東御市温泉健康複合施設「ゆうふる tanaka」管理運営事業

利用者数は、前期比 4.9%減の 184,322 人、入館料収入は、前期比 1.3%減の 69,466 千円となりました。当日券等の入館者の減、フィットネス会員の月平均 31 名の減が、入館料収入の減少の要因となりました。

自主事業収入は、前期比 7.2%減の 12,978 千円となりました。売店は、仕入価格が安定せず、販売価格の値上がりが止まらない状況でした。オラホビールの特別価格販売は好調で、月 10 万円を売上しました。

来期は、日用品の販売を追加するなど利用者の利便性の向上に努めてまいります。

⑥ 温泉コミュニティーセンター「御牧乃湯・御牧苑」管理運営事業

御牧乃湯及び御牧苑は、「社会福祉法人みまき福祉会」に第三者委託し運営しております。利用者数は、前期比 2.3%減の 96,241 人、利用料収入は、前期比 9.1%増の 35,254 千円となりました。御牧苑の収入は 12,489 千円でした。

来期も引き続き、「社会福祉法人みまき福祉会」に管理の大部分を第三者委託し、福祉的サービスの向上と、周辺施設の一元的管理により、効率的な施設運営を実施してまいります。

⑦ 東御市芸術むら公園「明神館」管理運営事業

利用者数は、前期比 7.5%減の 64,154 人、宿泊者数は、前期比 8.8%減の 3,876 人、利用料収入は、前期比 2.7%減の 61,435 千円となりました。11 月に実施した源泉ポンプの更新工事で源泉井戸の湯量と温度が低下し、展望風呂付客室への温泉の供給が困難となり、冬期の宿泊者が大きく減少しました。

自主事業収入は、前期比 0.7%減の 66,112 千円となりました。宿泊者数の減少による食事売上の減を、好調に推移した日帰り宴会やレストランの売上で補うことができませんでした。

来期は、料理の評価をさらに高めるとともに、SNS を活用しての情報発信の強化による県外からの誘客と、地元周辺への周知に再度取り組み、レストランの利用から日帰り宴会、宿泊利用へと繋げることで宿泊者の獲得に努めてまいります。

⑧ 不動産事業

今期は土地の売買はありませんでした。

なお、株式会社 SHIOSAWA と土地の賃貸料に係る変更契約の合意が成立したことから土地の賃貸借料収入総額は 93,262 千円となりました。

経理の内容は、次のとおりでした。

収入は、受託料収入が 248,364 千円（税抜、以下同じ。）、施設利用料及び自主事業売り上げが 742,607 千円、不動産収入が 93,262 千円となり、営業外収益等を含めた総額では 1,088,755 千円となりました。

支出は、販管費及び一般管理費が 725,158 千円で、売上（製造）原価、営業外費用、及び法人税地方税を含めた総額では 1,132,293 千円となりました。

この結果、当期損失は 43,538 千円となりました。

\*受託料収入 248,364 千円（税抜）

内訳	東御市からの 4 温泉施設指定管理料	68,548 千円
	大田区からの指定管理経費	179,816 千円

来期については、国内外の政治的不安定な情勢の中、エネルギー価格高騰や物価上昇に対応するため、収益の向上に向けて売上の確保、限られた経費や資源の有効活用を図るとともに、持続的に成長する会社にするための経営改善を進めてまいります。

とりわけ、温泉施設については、利用者の目的やニーズに応じて、銭湯型施設や観光型施設など、それぞれに適した運営を行ってまいります。

主要業務をとおして、株主並びに関係者各位のご期待にお応えすべく、お客様本位の営業姿勢と活気ある地域づくりを基本に、地域の発展に貢献できるような事業の伸展及び業績向上に努めてまいります。

今後とも、一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



# 決 算 報 告 書

( 第 32 期 )

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

株式会社 信州東御市振興公社

長野県東御市県281-2

## 貸借対照表

2026年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 180,794,380】	【流動負債】	【 148,297,298】
現金及び預金	44,315,024	未払金	102,516,687
売掛金	61,329,496	前受金	581,125
商品	17,024,022	預り金	18,225,188
(製)製品	22,842,899	仮受金	298,200
(製)原材料	13,539,709	未払法人税等	536,500
(製)仕掛品	6,159,329	賞与引当金	15,632,998
貯蔵品	6,700,037	未払消費税等	10,506,600
前払費用	26,650	【固定負債】	【 106,638,679】
短期貸付金	3,700,000	長期借入金	16,999,964
立替金	49,542	預り保証金	24,299,255
仮払金	4,393,549	退職給付引当金	55,747,134
未収入金	1,082,099	リース債務	9,592,326
貸倒引当金	△367,976		
【固定資産】	【 230,275,552】		
(有形固定資産)	( 210,687,830)		
建物	213,176,100		
建物附属設備	34,415,723		
構築物	22,533,108		
機械装置	176,413,973		
車輛運搬具	6,144,949		
工具器具備品	20,376,315		
リース資産	14,858,400		
土地	158,344,768		
一括償却資産	851,548		
減価償却累計額	△436,427,054		
(無形固定資産)	( 5,998,752)		
電話加入権	819,292		
リース資産	5,179,460		
(投資その他の資産)	( 13,588,970)		
出資金	1,000,000		
投資有価証券	1,000,000		
保証金	11,549,000		
リサイクル預託金	39,970		
資産の部合計	411,069,932		
		負債の部合計	254,935,977
		純資産の部	
		【株主資本】	【 156,133,955】
		(資本金)	( 98,000,000)
		資本金	98,000,000
		(資本剰余金)	( 247,675,890)
		資本準備金	247,675,890
		(利益剰余金)	( △189,541,935)
		繰越利益剰余金	△189,541,935
		純資産の部合計	156,133,955
		負債及び純資産の部合計	411,069,932

## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
売 上 高	264,497,935	
売上高自販機	7,454,478	
不動産貸付収入	93,262,424	
売上高受託料	248,364,126	
売上高ビール	264,612,287	
売上高入館料	206,041,654	1,084,232,904
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	15,496,846	
仕入高	173,391,705	
当期製品製造原価	234,565,278	
合 計	( 423,453,829)	
期末棚卸高	17,024,022	406,429,807
売上総利益		( 677,803,097)
【販売費及び一般管理費】		
広告宣伝費	8,601,640	
販売促進手数料	2,465,928	
荷造運賃	7,082,901	
委託料	37,885,400	
役員報酬	1,490,000	
給料手当	251,603,935	
法定福利費	42,270,640	
福利厚生費	7,238,741	
賞与引当金繰入	1,000,000	
退職給付費用	6,298,959	
雑給料	73,677,450	
支払手数料	9,971,293	
賃借料	17,132,421	
諸会費	368,600	
接待交際費	157,541	
旅費交通費	8,341,541	
通信費	1,680,117	
消耗品費	17,345,184	
租税公課	1,238,799	
減価償却費	179,191	
地代家賃	58,289,000	
修繕費	189,237	
水道光熱費	105,815,797	
保険料	1,550,176	
貸倒引当金繰入額	△56,469	
車 輛 費	1,201,494	

科 目		金	額
			円
清 掃 費		16,000,960	
講 師 料		10,007,740	
会 議 費		229,661	
建 物 設 備 管 理 費		30,500,000	
研 修 費		226,019	
リ ー ス 減 価 償 却 費		3,272,964	
雑 費		1,901,512	725,158,372
	営 業 損 失		( 47,355,275)
【営 業 外 収 益】			
受 取 利 息		17,762	
雑 収 入		4,504,468	4,522,230
【営 業 外 費 用】			
支 払 利 息		65,515	
雑 損 失		100,365	165,880
	経 常 損 失		( 42,998,925)
	税 引 前 当 期 純 損 失		( 42,998,925)
	法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		539,216
	当 期 純 損 失		( 43,538,141)

## 製造原価報告書

科 目	金 額	円
<b>【材 料 費】</b>		
(製)期首原材料棚卸高	15,990,812	
(製)材料仕入高	94,133,738	
小 計	( 110,124,550)	
(製)期末原材料棚卸高	13,539,709	96,584,841
<b>【労 務 費】</b>		
(製)給料手当	22,478,831	
(製)法定福利費	3,622,425	
(製)福利厚生費	231,529	
(製)雑給	1,510,808	27,843,593
<b>【製 造 経 費】</b>		
(製)消耗品費	8,426,060	
(製)水道光熱費	11,328,870	
(製)通信費	79,322	
(製)地代家賃	863,549	
(製)修繕費	2,437,338	
(製)旅費交通費	441,223	
(製)租税公課	65,255,191	
(製)減価償却費	6,833,765	
(製)保険料	2,944,020	
(製)研究開発費	12,998	
(製)支払手数料	1,603,693	
(製)賃借料	46,340	
(製)諸会費	3,000	
(製)委託料	2,413,872	
(製)販売手数料	451,148	
(製)雑費	25,598	103,165,987
当期総製造費用		( 227,594,421)
(製)期首仕掛品棚卸高		3,461,716
(製)期首製品棚卸高		32,511,369
(製)期末仕掛品棚卸高		6,159,329
(製)期末製品棚卸高		22,842,899
当期製品製造原価		( 234,565,278)

## 株主資本等変動計算書

自 2025 年 4 月 1 日 至 2026 年 3 月 31 日 単位 円

	株主資本						純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計		
	資本 準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	98,000,000	247,675,890	247,675,890	△146,003,794	△146,003,794	199,672,096	199,672,096
当期変動額							
当期純損益金				△43,538,141	△43,538,141	△43,538,141	△43,538,141
当期変動額合計				△43,538,141	△43,538,141	△43,538,141	△43,538,141
当期末残高	98,000,000	247,675,890	247,675,890	△189,541,935	△189,541,935	156,133,955	156,133,955

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価法

商品、貯蔵品は、最終仕入原価法を採用しております。

製品、仕掛品は、製造原価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、定額法及び定率法を採用しております。

無形固定資産は、定額法を採用しております。

#### (3) 消費税等の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### (4) 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しています。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 事業年度の末日における発行済株式数

普通株式 5,824 株

#### (2) 利益剰余金

利益剰余金	前期末残高	-146,003,794 円
	当期純損益	-43,538,141 円
	繰越利益剰余金	-189,541,935 円

### 3. その他の注記

減価償却資産の当期減価償却実施額	10,285,920 円
減価償却資産の償却累計額	661,650,406 円

以上のとおり、ご報告いたします。

資料No. 2

令和7年度 決算報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

一般社団法人信州とうみ観光協会

<https://tomikan.jp/>

東御市内外の旬な情報は信州とうみ観光協会がお届けします。

スマートフォンで下記QRコードから読み取り検索できます。

ホームページ



Facebook



Instagram



X (twitter)



YouTube



とうみファン倶楽部



## 【法人の概要】

法人名：一般社団法人信州とうみ観光協会（英文名：Shinshu Tomi Tourism Association）  
設立日：平成29年（2017）9月1日（登録観光地域づくり法人：令和4年（2022）3月28日 区分：地域DMO）  
営業開始日：平成30年（2018）4月1日（旅行業登録：2017年11月22日 長野県地域-603号）  
事務所：長野県東御市田中279番地 東御市観光情報ステーション内  
基金総額：100万円（東御市より）

役員	会長	北沢 達	湯の丸観光開発株式会社 常務取締役
	副会長	田丸 基廣	東御市 前副市長
	副会長	坂口 晋一	東御市商工会 会長
	理事	武田 芳夫	有限会社雷電くるみの里 代表取締役
	理事	小林 文治	J A信州うえだ農協 東部地区事業部 部長 東御支所長
	理事	高木 敦	株式会社信州東御市振興公社 取締役
	理事	山岸 智之	合同会社まるごと 理事
	理事	澤田 裕介	株式会社アサマリゾート 営業推進部 部長
	理事	土屋 裕	八十二長野銀行田中支店 支店長
	理事	小山 英明	株式会社リュードヴァン 代表取締役
	理事	尾山 直樹	代表有限会社テールマウンテン代表取締役
	監事	斉藤 俊一	奈良原温泉 あさま苑
	監事	堀内 和子	株式会社エフエムトウミ代表取締役

（令和7年度：役職 氏名 所属・役職（参考）順不同）

法人目的：この法人は、東御市の豊かで美しい自然、景観、文化・歴史、産業などの多彩な地域資源を活かし、地域住民をはじめ地域の多彩な事業者、行政等と一体的に観光の振興を図ることに  
より、交流人口の増加を促進し、地域経済の持続的な発展・向上に寄与することを目的とする。

法人事業：（1）観光に関する情報の収集及び発信  
（2）観光に関する誘客宣伝、案内及び観光客の誘致促進  
（3）観光に関するイベントの開催  
（4）国内外の観光に関する調査、研究  
（5）観光商品の開発、宣伝及び販売  
（6）観光関係者の資質の向上及び観光ボランティア等の育成  
（7）観光施設の管理運営  
（8）観光関係団体の支援及び連携の推進  
（9）旅行業法に基づく旅行業に関する事  
（10）食品衛生法に基づく飲食業に関する事  
（11）酒税法に基づく酒類販売業に関する事  
（12）旅館業法に基づく宿泊業に関する事  
（13）その他、当法人の目的を達成するために必要な事業（※定款第3条抜粋）

会員数：140団体（令和8年3月31日現在）

## 【事業の状況】

### ○令和7年度 観光天候状況

春（4月～5月）： 早めの開花とブドウの芽吹きも早まり降水量が少なく、安定した晴天が続いたため、農作業は順調に進んだ様でした。 夏（6月～8月）： 特に8月は35℃を超える猛暑日が続き、果樹の育ちも早まり、池の平温原の駐車場の利用も例年並みに進み、海野宿「うんのわ」はインバウンドを意識したリノベーション終了してリニューアルオープンしました。

秋（9月～11月）： 台風の影響が少なく、絶好の行楽・収穫日和に恵まれました。2025年は海野宿が誕生して400年という記念すべき年の「海野宿ふれあい祭り」は暖かく約9千人の来場がありました。また市から委託による祢津御堂を核とするワインツーリズム、湯の丸起点とするヘルスツーリズム事業を行いました。

冬（12月～2月）： 降雪量は前年より少ないですが、1月下旬に強力な寒波が到来。最低気温が氷点下10℃を下回る日もあり、湯の丸スキー場も好調に推移しています。また1年を通しての来訪者満足度調査から宿泊施設にとっては通過型から滞在型への動きを感じる一年でした。

### ○国内状況（観光庁発表）

#### 1. 国内旅行消費額（日本人）

2025年（暦年）の日本人国内旅行消費額は、26兆7,746億円（前年比+6.4%）に達し、統計開始以来の過去最高を記録しました。

要因： 宿泊・日帰りともに旅行単価が上昇。物価高の影響もありつつも、旅行意欲は堅調に推移しました。

#### 2. 延べ宿泊者数（日本人・外国人）

2025年全体の延べ宿泊者数は6億5,348万人泊（前年比-0.8%）と、全体では微減となりましたが、内訳に顕著な差が出ています。日本人：4億7,561万人泊（前年比-3.8%）

消費額は増えましたが、宿泊を伴う旅行回数はやや抑制傾向にありました。外国人：1億7,787万人泊（前年比+8.2%）インバウンド需要は極めて旺盛で、過去最多を更新し続けています。

#### 3. 客室稼働率

全国平均の客室稼働率は61.8%（前年差+2.2pt）と改善傾向にあります。

施設タイプ別： シティホテル：74.2% ビジネスホテル：75.3% 旅館：38.4% 地域別トピックス： 大阪府が約79%で全国トップとなりました。これは大阪・関西万博（2025年4月～10月）による強い集客効果が大きく寄与しています。（観光庁調査）

## 1. 観光宣伝事業

旅先（デスティネーション）として認知されるため、観光資源のPR、観光情報の発信等を行いました。

### (1) 観光情報発信

事業内容	実績
旅行商品を地元企業やファンクラブ会員への案内促進、看板商品や企業研修の商品化	会員連携
観光パンフレットの修正や増刷、配布、広報、広告展開	トリセツ2万部増刷
とうみファン倶楽部（メール配信）の運営管理 会員増強、来訪促進	運営管理（別項目）
協会HPやSNSを活用したデジタルプロモーション運営管理 近隣との連携	運営管理（別項目）
田中駅デジタルサイネージの観光イベント情報放映の運営管理	随時改変管理

<4月～翌年3月年度実績>

年度	ホームページ ページビュー	Facebook フォロワー数	Instagram フォロワー数	YouTube 登録数	X フォロワー数
令和5年度(2023)	672,000	1,916	1,311	466	-
令和6年度(2024)	698,000	2,055	1,540	595	780
<b>令和7年度(2025)</b>	<b>625,938</b>	<b>2,106</b>	<b>1,976</b>	<b>663</b>	<b>1,039</b>

年度	ファン倶楽部会員数	会員メール配信数
令和5年度(2023)	1,171	9
令和6年度(2024)	1,071	17
<b>令和7年度(2025)</b>	<b>1,106</b>	<b>10</b>



### (2) PR イベントでの情報発信

事業内容	主催	実績
9月12日(金) 日本橋プラザ南広場キャンペーン	上田地域観光協議会	
10月11日(土)・12日(日) 友好都市ふれあい広場(JR 蒲田駅西口広場)	東京都大田区	
11月1日(土)・2日(日) OTA フェスタ2025	東京都大田区	
2月4日(水)・5日(木) 浅観協首都圏キャンペーン(横浜市役所)	浅間山麓観光振興推進協議会	
3月2日(月) 食・ワインPRイベント(リクルート本社)	東御市商工観光課	約40人
3月6日(金) 報道インフルエンサー向け食・ワインPRイベント(銀座 NAGANO)	東御市商工観光課	参加24人

### (3) その他連携協力によるPR活動

事業内容	実績
5月24日(土) 映画撮影ロケ支援 御牧原一本くるみ映画「SUKIYAKI 上を向いて歩こう」	交渉実施協力
フィルムコミッション(ロケ支援)事業、映画・テレビの撮影等への協力とPR	随時連携協力
銀座 NAGANO、八十二銀行川越・八王子支店ディスプレイ、江戸街道プロジェクト	協力
現地を巡るためのセルフガイド動画の活用(観光地域魅力創造事業:継続)	継続業務運営
しなの鉄道沿線広域インバウンド連絡会との連携プロモーション事業の推進	連携協力事業

## 2. 誘客促進事業

来訪者増加、市内滞在時間の延長を目指し、東御市の観光資源を活用したプログラム、ツーリズムの造成と宿泊とのマッチングのほか、旅行商品商談会への参加や各種イベントを実施しました。

### (1) 体験・滞在型観光プログラム造成事業

事業内容	実績
8月2日(土)・3日(日) Tominity 会員限定「里山とおしゃべりを体験する とうみの旅」 (シティプロ委託事業)	参加 6 人
10月9日 ID 学園生 くるみ収穫体験受入 / 11月3日海野宿場体験受入	67 人/23 人
10月19日(日) 湯の丸高原クアオルト®&ウェルネス体験ツアー (商観委託事業)	参加 15 人
11月3日(月) 祢津山城巡り (祢津地域づくりの会協力)	参加 35 人
11月15日(土) Tominity 会員限定「とうみ発酵プレミアムツアー」(シティプロ委託事業)	参加 12 人
12月5日(金) 旅行会社ご担当者様向けワインツーリズムモニターツアー	参加 20 人
12月13日(土) 企画展特別ツアー「宮入法廣の仕事を知る、人を知る」(文化係委託事業)	参加 7 人
通年 グリーンツーリズム (新メニュー：お醤油作り体験)	下記参照
とうみワインタクシーの運営、観光 2 次交通の充実、とうみレッツ号の活用促進	利用者 18 件 59 人

<4月～翌年3月年度実績>

年度	グリーンツーリズム体験受入れ人数	前年対比	海野宿ガイド	前年対比
令和 5 年度 (2023)	61 (12 組)	-	50 組 (823 人)	178%
令和 6 年度 (2024)	81 (22 組)	132%	55 組 (1,235 人)	110%
<b>令和 7 年度 (2025)</b>	<b>96 (24 組)</b>	<b>118%</b>	<b>44 組 (751 人)</b>	<b>60%</b>

### (2) 商談会への参加

事業内容	実績
9月9日(火) 都内旅行会社商談会 8 商品の提案	商談数 10 社
1月22日(木) 高付加価値旅行国内関係者ネットワークイベント	商談数 14 社

### (3) 地域資源を活用した誘客事業

事業内容	実績
環浅間山連携に向けてアサマアグリツーリズム推進事業 (長野県発元気づくり支援金活用事業)	参加申込総数: 85 人
1 農業体験 (4 回) 6月28日(土)24名/10月18日(土)31名/10月19日(日)15名(当日欠5名)/ 11月29日(土)15名(当日欠11名)	動画閲覧総数 90 万回超
2 SNS 発信強化～YouTube チャンネル浅間山麓ヨイト農作倶楽部 <a href="https://www.youtube.com/@yoito_clu">https://www.youtube.com/@yoito_clu</a>	
 	
アサマアグリツーリズム推進事業	

(4) 地域資源を活用したイベント

事業内容	区分	実績
5月10日(土)・11日(日) 東御ワインフェスタ(東御ワインクラブとの連携協力)	後援・協力	来場 2,840 人
5月18日(日) グランフォンドとうみ湯の丸大会 (サイクリングフェスティバル ASAMA 連携主催)	後援・協力	湯の丸 20/ 673 人
5月24日(土) 湯の丸ヒルクライム大会(ゴールおもてなし協力)	後援・協力	—
5月30日(金) 湯の丸高原山開き	主催	参加約 70 人
6月22日(日) 湯の丸高原つつじ祭り	主催	来場者数 5,300 人
8月30日(土) アサマスタークロスウォーク 東御～湯の丸～高峰～小諸	後援・協力	登録約 500 人
10月4日(土) 東御市移住者交流会(シティプロ委託事業)	受託事業	参加 47 名
10月26日(日) 軽井沢グランフォンド大会(湯の丸エイドステーション協力)	後援・協力	約 500 人
11月2日(日) 海野宿ふれあい祭(海野宿 400 年事業 7月1日～12月20日協力)	後援・協力	来場約 9,000 人
11月9日(日) 台湾田中マラソン プロモーション・大会参加 (しな鉄・沿線観光協会連携)	協力・参加	約 17,000 人
11月21日(金) 湯の丸高原冬山安全祈願祭	主催	参加約 70 人
3月1日(日) 湯の丸スキー大会(文化スポーツ協力)	受託事業	登録 187 人

3. 協会運営・会員サービス

地域との合意形成や東御市の観光地域づくり戦略の共有事業、観光協会運営業務を行いました。

事業内容	実績
理事会の開催(年3回)	5月19日、11月30日、3月27日
定時総会の開催(年1回) 情報交換会、会員サービス	5月27日
湯の丸部会の開催(年2回)	4月15日、9月10日
市議会報告	6月10日
観光地域づくりタウンミーティングの開催(合意形成、市共催、年1回程度)	2月14日 31人、アーカイブ配信

(1) DMO 法人運営

一般社団法人として下記業務を適切に実施し、持続可能で健全な法人運営を行いました。

【主な会議・委員会関係】

観光係との定例会、他部署との調整、毎月うんのわ定例会、湯の丸ビジターセンターとの調整随時

- 5月21日 浅間山麓広域観光推進協議会総会
- 5月30日 上信越ふるさと街道協議会総会
- 6月13日 浅間山麓産業振興推進協議会総会
- 7月 9日 長野コンベンションビューロ 総会
- 8月 4日 「スノーリゾート信州」プロモーション委員会総会
- 9月 3日 大田区交流イベント委員会
- 1月10日 鹿沢インフォメーション協議会総会

## (2) 会員様サービスの充実化

- ・会員向けセミナーや勉強会、会員同士の交流機会等の情報発信や場の提供
- ・会員向け情報提供の随時発信（HP・メール配信・報道・番組取材依頼、素材提供、出店情報など）
- ・会員の観光案内所活用やイベントプロモーションなどに参加機会の提供
- ・会員主催のイベントの企画・広報や運営などの支援活動、セールスプロモーションのご相談対応など

<4月～翌年3月年度実績>

年度	前期末会員数	当期入会者数	当期退会数	期末会員数	メール配信数
令和5年度(2023)	133	3	7	129	12
令和6年度(2024)	129	9	4	134	17
<b>令和7年度(2025)</b>	<b>134</b>	<b>10</b>	<b>4</b>	<b>140</b>	<b>14</b>

## 4. 観光マーケティング調査・KPI(指標)の設定

持続可能な観光地域づくりを行うために、各種マーケティング調査の実施や、KPI(指標)を設定し、会員間での共有などを行いました。

事業内容	
来訪満足度調査、宿泊統計調査の実施	1,059人
KPI達成状況報告(観光タウンミーティング)	31人

## 5. 観光関連施設の管理運営

各種事業・イベントを含む公・共益事業を実施するとともに、それらの事業を補完する自主事業を実施し、協会の財政基盤の安定化を図りました。

### (1) 公・共益事業

#### ■ 東御市観光情報ステーション運営

期 間：令和7年4月1日(火)から令和8年3月31日(火)まで

営業時間：9時～17時 定休日：水曜日、年末年始 場 所：しなの鉄道田中駅舎内

内 容：

- ・来訪者へのコンシェルジュ観光案内、手荷物預かり、レンタサイクル・シェアサイクルの運営
- ・商工会・田中商店街との連携、イベント装飾などにより、東御市の玄関口としての田中駅周辺の活性化
- ・観光客及び市民を温かく親切に迎え、おもてなしをする受入体制の推進と市民の交流施設
- ・インバウンド来訪者(訪日外国人)のカウント化

<4月～翌年3月年度実績>

年度	来場者数(人)(訪日外国人)	レンタサイクル/シェアサイクル(台)	パンフレット発送(件)
令和5年度(2023)	6,057(-)	276/207	154

令和6年度(2024)	6,657(65)	284/234	141
令和7年度(2025)	6,077(79)	235/331	143

## (2) 市指定管理受託事業

### ■東御市海野宿滞在型交流施設「うんのわ」

期 間：令和7年4月1日(火)から令和8年3月31日(火)(指定管理期間令和11年3月31日まで)

営業時間：10時～16時 定休日：水曜日 場 所：東御市本海野1013番地

一部飲食5月オープン、宿泊施設と合わせ全館7月9日(水)リニューアルオープン

内 容：

- ・観光案内と飲食・宿泊施設、無料休憩所の運営管理(当会員：旅マネージメントとの協働運営管理)
- ・地域起こし協力隊による本海野区やNPO法人海野宿トラスト、地域住民、商店業者との連携体制の構築
- ・うんのわイベント開催とSNS発信

<4月～翌年3月年度実績>

年度	入館数4月～3月	ワンデーシェフランチ(菜花ランチ)
令和5年度(2023)	(4月～2月) 11,186人	(4月～1月) 食事人数 1,315人
令和6年度(2024)	(4月～11月) 7,835人	(4月～10月) 食事人数 906人
令和7年度(2025)	(7月～3月) 7,033人	(5月～6月) 食事人数 302人

※NHK Eテレ 10月16日(木) 午後10:30～11:00『ジューデンのまちなみタイムスリップ』全国放送

### ■湯の丸高原ビジターセンター

期 間：令和7年4月1日(火)から令和8年3月31日(火)(指定管理期間令和11年3月31日まで)

場 所：湯の丸高原地蔵峠 定休日：水曜日 4月26日(土)営業開始

内 容：

- ・グリーンシーズンの利用者に対し、湯の丸高原の自然案内、登山案内を実施。
- ・山岳高原アクティビティ(遊び・体験・スポーツ)に必要な装備品やオリジナルグッズ、協会の商品、キャンプ用品の販売。湯の丸テレワーク施設の紹介、来訪者サービスを行う
- ・ネイチャーマイスター(自然解説員)によるトレッキングガイド、ネイチャーガイドや木工クラフト体験等の受け入れ。
- ・指定管理基本協定書に基づいた運営管理業務

事業内容	実施日	実施状況
初夏の自然体験講座	6月7日	参加21名
山の日夏の自然体験講座	8月11日	雨天中止
秋の自然体験講座	9月27日	参加32名
湯の丸高原レンゲツツジ保存活動	5月17日9月6日10月2日	—
※スノーシュートレッキング	1月13日～3月16日	13回実施160名

### (3) 受託事業

#### ■池の平インフォメーションセンター運営管理

期 間：令和7年6月1日(日)から令和7年11月3日(月祝)

場 所：池の平湿原入口

内 容：

- ・常駐するネイチャーマイスターによる来訪者への情報提供、トレッキングルート案内、自然ガイドンス
- ・案内板等の点検及び登山道等の巡視、軽微な整備
- ・ネイチャーマイスターの新規育成と充実 AED研修、二一ルリーダー資格教育
- ・5月14日ネイチャーマイスタースタート会議

<4月～翌年3月年度実績>

年度	VC来館者数	クラフト体験	ガイドツアー	合計(人)	前年対比
令和5年度(2023)	8,214人	142人	12件 425人	8,781	111%
令和6年度(2024)	9,463人	220人	33件 1,386人	11,069	126%
<b>令和7年度(2025)</b>	<b>8,774人</b>	<b>231人</b>	<b>33件 1,013人</b>	<b>10,015</b>	<b>90%</b>

#### ■田中駅改札案内業務

期 間：令和7年4月1日(火)から令和8年3月31日(火)まで(無休)

場 所：しなの鉄道 田中駅 2026年3月14日Suica導入後も改札案内業務実施

内 容：しなの鉄道利用者の利便性向上と東御市を訪れた観光客等に的確な観光情報の提供  
鉄道の玄関口田中駅の有効活用 来訪デコレーション、台湾田中駅との連携

<乗降者4月～翌年3月年度実績>

年度	乗車数(人)	降車数(人)	乗降数(人)	前年対比
令和5年度(2023)	362,085	359,095	721,180	98%
令和6年度(2024)	367,122	361,832	728,954	101%
<b>令和7年度(2025)</b>	<b>345,343</b>	<b>341,421</b>	<b>686,764</b>	<b>(2月末現在)</b>

### (4) 自主事業

#### ■池の平湿原有料駐車場 運営管理

期 間：令和7年5月3日(土祝)から令和7年11月3日(月祝)

設置場所：池の平湿原駐車場

内 容：池の平湿原を訪れる来訪者に対する駐車料金の徴収、観光案内及びウォーターペット販売。

駐車料金：普通車(軽自含む)600円 中型車2,500円 大型車3,500円 自動二輪200円

身体障害者手帳を所持し提示した者は、上記金額の半額とする

※ 森林環境整備協力金について(湯の丸・高峰レクリエーションの森) 駐車料金に含める。

※ 市内小中学校の教育学習利用時、また市内保育園、幼稚園の園外活動の場合は駐車料金を免除

<5月～11月 駐車実績>

年度	普通車	中型	大型	障害	自動二輪	合計
令和5年度(2023)	11,136	76	224	59	97	11,604台
令和6年度(2024)	9,597	65	240	62	75	10,039台
<b>令和7年度(2025)</b>	<b>10,305</b>	<b>60</b>	<b>237</b>	<b>59</b>	<b>78</b>	<b>10,764台</b>

■協会オリジナル商品・事業開発

- ・公式オンラインショップ運営管理 (BASE: <https://thebase.in/> SUZURI: <https://suzuri.jp/tomikan>)
- ・ふるさと納税お礼の品、協会商品開発 旅行商品や体験商品開発 ネットショップ双方での販売
- ・酒類販売免許、露天商免許などの活用
- ・来訪者サービス、ネットショップの売りに上げるに繋がる会員様の商品掲載及びオリジナル商品開発と販売

<ふるさと納税お礼品 4月～翌年3月実績>

年度	種類	件数	扱い高(円)	前年比件数/扱高	BASE,ほか
令和5年度(2023)	9	12	412,640	71%/70%	—
令和6年度(2024)	9	9	363,116	75%/87%	—
<b>令和7年度(2025)</b>	<b>9</b>	<b>11</b>	<b>394,350</b>	<b>122%/108%</b>	—

<参考>各施設職員体制

事業所	職員	派遣	臨時・パート	派遣(協力隊)	合計	備考
法人・事務局	2	1		3	6	週5日、週4日シフト
東御市観光情報ステーション			1		1	水曜定休、年末年始
田中駅			4		4	年中無休 常時1名勤務
湯の丸ビジターセンター		1	3		4	夏季4月26日～11月3日
池の平駐車場			8		8	夏季5月3日～11月4日
うんのわ				1	1	水曜定休 週4日シフト
雇用人数	2	2	16	4	24	一減

※雇用関係(令和8年3月現在)

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	281,819	134,333	147,486
建物附属設備	290,000	289,999	1
構築物	702,000	701,999	1
什器備品	3,593,876	1,734,478	1,859,398
繰延資産	2,529,000	1,728,150	800,850
合 計	7,396,695	4,588,959	2,807,736

3. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
運営費補助金	東御市		9,800,000	9,800,000		
観光協会HP多言語化事業	東御市		432,000	432,000		
合 計			10,232,000	10,232,000		

4. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
基金	1,000,000			1,000,000
基 金 計	1,000,000			1,000,000
合 計	1,000,000			1,000,000

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	8,725,018	11,773,099	△ 3,048,081
未収金	5,609,540	4,373,380	1,236,160
前払金	15,930	21,240	△ 5,310
貯蔵品	3,080	0	3,080
商品	1,523,859	1,224,457	299,402
仮払消費税	45	0	45
流動資産合計	15,877,472	17,392,176	△ 1,514,704
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	147,486	187,786	△ 40,300
建物附属設備	1	72,065	△ 72,064
構築物	1	87,750	△ 87,749
什器備品	1,859,398	2,854,950	△ 995,552
繰延資産	800,850	1,306,650	△ 505,800
営業保証金	200,000	200,000	0
その他の固定資産合計	3,007,736	4,709,201	△ 1,701,465
固定資産合計	3,007,736	4,709,201	△ 1,701,465
資産合計	18,885,208	22,101,377	△ 3,216,169
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	2,950,565	1,107,259	1,843,306
前受金	0	20,400	△ 20,400
預り金	64,175	70,740	△ 6,565
未払法人税等	71,000	71,000	0
未払消費税等	151,200	1,899,500	△ 1,748,300
流動負債合計	3,236,940	3,168,899	68,041
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,236,940	3,168,899	68,041
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 基金			
基金	1,000,000	1,000,000	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	14,648,268	17,932,478	△ 3,284,210
一般正味財産	14,648,268	17,932,478	△ 3,284,210
正味財産合計	15,648,268	18,932,478	△ 3,284,210
負債及び正味財産合計	18,885,208	22,101,377	△ 3,216,169

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入金	0	0	0
受取会費	3,040,000	3,005,000	35,000
受取会費	3,040,000	3,005,000	35,000
事業収益	30,676,525	35,674,570	△ 4,998,045
受託事業収益	18,701,880	24,186,698	△ 5,484,818
販売事業収益	2,615,123	2,590,878	24,245
その他事業収益	9,359,522	8,896,994	462,528
受取補助金等	14,299,000	18,845,000	△ 4,546,000
受取地方公共団体補助金	14,299,000	18,845,000	△ 4,546,000
受取負担金	1,631,104	4,661,819	△ 3,030,715
受取負担金	1,631,104	4,661,819	△ 3,030,715
受取寄付金	0	0	0
雑収益	1,062,484	1,866,225	△ 803,741
受取利息	21,097	9,688	11,409
雑収益	1,041,387	1,856,537	△ 815,150
経常収益計	50,709,113	64,052,614	△ 13,343,501
(2) 経常費用			
事業費	37,402,801	46,449,090	△ 9,046,289
給料手当	6,836,770	6,300,491	536,279
賃金	10,034,447	11,855,995	△ 1,821,548
法定福利費	684,196	664,851	19,345
会議費	7,964	9,546	△ 1,582
通信運搬費	90,312	106,207	△ 15,895
消耗什器備品費	0	168,100	△ 168,100
消耗品費	81,630	195,064	△ 113,434
印刷製本費	1,724,252	1,460,064	264,188
使用料及び賃借料	557,484	584,904	△ 27,420
保険料	68,057	56,153	11,904
事業宣伝費	12,037,041	21,175,961	△ 9,138,920
支払負担金(協力金)	342,390	320,320	22,070
委託料	1,206,819	208,637	998,182
商品仕入費	2,469,520	2,169,238	300,282
ツーリズム費	699,435	646,922	52,513
雑費	562,484	526,637	35,847
管理費	16,516,294	14,764,906	1,751,388
給料手当	6,895,653	4,064,714	2,830,939
法定福利費	986,168	920,229	65,939
福利厚生費	21,895	27,335	△ 5,440
会議費	152,339	127,153	25,186
旅費交通費	138,189	49,544	88,645
通信運搬費	389,039	346,853	42,186
消耗品費	303,152	686,951	△ 383,799
印刷製本費	57,991	12,247	45,744
光熱水料費	1,760,150	2,461,933	△ 701,783
使用料及び賃借料	1,379,705	1,364,222	15,483
保険料	42,056	43,006	△ 950
報償費	555,903	566,027	△ 10,124
租税公課	39,618	60,150	△ 20,532
支払負担金	339,963	490,779	△ 150,816

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
委託料	522,664	763,400	△ 240,736
減価償却費	1,701,465	856,737	844,728
支払利息	0	19,561	△ 19,561
雑費	1,230,344	1,904,065	△ 673,721
経常費用計	53,919,095	61,213,996	△ 7,294,901
評価損益調整前経常増減額	△ 3,209,982	2,838,618	△ 6,048,600
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,209,982	2,838,618	△ 6,048,600
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,209,982	2,838,618	△ 6,048,600
法人税、住民税及び事業税	74,228	72,457	1,771
一般正味財産増減額	△ 3,284,210	2,766,161	△ 6,050,371
一般正味財産期首残高	17,932,478	15,166,317	2,766,161
一般正味財産期末残高	14,648,268	17,932,478	△ 3,284,210
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金期首残高	1,000,000	1,000,000	0
基金期末残高	1,000,000	1,000,000	0
IV 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	15,648,268	18,932,478	△ 3,284,210

## 公益財団法人身体教育医学研究所 令和7(2025)年度 事業・決算報告

(令和7(2025)年4月1日から令和8(2026)年3月31日まで)

## I. 法人の概況

## I-1. 定款に定める目的(定款第3条)

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

## I-2. 定款に定める事業内容(定款第4条)

定款第4条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分
(1) 身体教育医学に関する調査研究	(公1) 身体教育医学に関する調査研究事業
(2) 調査研究事業、 健康づくり事業等の受託及び協力	
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	(公2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への 講師派遣、相談指導等の教育啓発事業
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催	(公3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した 文献の一般公開等による情報発信事業
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	※内容により(公1)～(公3)のいずれかに該当

## I-3. 職員に関する事項(令和8(2026)年3月31日現在)

	職員数 (臨職数)	前期末比増減 (臨職数)	平均 年齢	平均勤続 年数	備考
男子	4名(1名)	0名(1名)	36.2	9.2	うち正規雇用1名は東御市より派遣
女子	6名(4名)	0名(0名)	53.4	11.0	うち正規雇用1名は東御市より派遣
全体	10名(5名)	0名(1名)	44.8	10.1	

## II. 事業の状況

## II-1. 令和7(2025)年度事業および決算等の概況

2025年度は、第4期中期計画(2024-2027)の2年目に定めた重点課題と、しんたいが掲げる基本的考え【コンセプト】、社会的使命【ミッション】、行動指針【ビジョン】に沿って、各種事業に取り組んだ。

## ～基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】～

## 「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

**行動指針【ビジョン】** しんたいは、「子どもの育ち」「心身の健康」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成にも貢献します。

①重点課題1

第4期中期計画（2024－2027）の2年目で、特に地域との協働で進めてきた子ども事業を強化し、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）への貢献を両立できるよう取り組む。

【単位：円】

項目	2025年度	2024年度	対前年増減額	前年対比
経常収益計	62,107,918	62,901,880	▲ 793,962	99%
うち（公1）調査研究事業	22,477,166	23,722,950	▲ 1,245,784	95%
うち（公2）教育啓発事業	19,250,820	16,700,409	2,550,411	115%
うち（公3）情報発信事業	21,129	140,043	▲ 118,914	15%
うち受取補助金等・受取寄附金他	20,358,803	22,338,478	▲ 1,979,675	91%
経常費用計	62,810,077	56,742,889	6,067,188	111%
うち（公1）調査研究事業	22,488,948	23,816,282	▲ 1,327,334	94%
うち（公2）教育啓発事業	22,752,061	18,610,432	4,141,629	122%
うち（公3）情報発信事業	5,398,922	5,608,817	▲ 209,895	96%
うち公益事業共通費・管理費	12,170,146	8,707,358	3,462,788	140%
経常収益費用差額	▲ 702,159	6,158,991	▲ 6,861,150	
純資産合計	19,105,333	19,807,492	▲ 702,159	96%

②重点課題2

事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1，3）

項目	※カッコ内の番号は定款第4条に定める事業区分に該当	2025年度	2024年度
(1) 自己資金・外部資金による調査研究事業		4件	6件
(1) 学術論文・編著書		4編	11編
(1) 学会発表等		11件	7件
(1) 調査研究事業の受託及び協力		10件	10件
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催		1件	2件
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行		1件	1件
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧		1,910冊	1,697冊
(8) その他必要な事業 1. 各種団体役員等		37件	35件
(8) その他必要な事業 2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載		32件	33件
(8) その他必要な事業 3. その他		17件	3件

③重点課題（3）

理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

項目	※カッコ内の番号は定款第4条に定める事業区分に該当	2025年度	2024年度	前年対比
(2) 健康づくり事業等の受託及び協力		564件 7,046人	455件 6,689人	件数：124% 人数：105%
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣		123件 3,542人	112件 3,207人	件数：110% 人数：110%
(4) 健康づくりに関する相談及び指導		80件 2,572人	91件 3,438人	件数：88% 人数：75%
教育啓発事業 計		767件 13,160人	658件 13,334人	件数：117% 人数：99%

## II-2. 令和7(2025)年度事業の実施状況

### (1) 身体教育医学に関する調査研究

#### 1. 自己資金による調査研究事業

- ① 東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業「地域住民によるプールの安全かつ効果的な活用のあり方に関する調査研究」

#### 2. 外部資金による調査研究事業

- ① 日本農村医学会・農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」(千葉大学:近藤克則<代表>・岡田真平<分担>)
- ② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED) 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業「エビデンスに基づく体力向上のための運動習慣定着を促進するパーソナライズされたアプリの開発」(信州大学:増木静江<代表>・半田秀一・横井佳代<協力>)
- ③ 杉浦地域医療振興助成「高齢者の自律と健康寿命の延伸をめざした転倒・骨折予防のための多職種連携可視化ツールの開発」(浜松医科大学:川上千春・鈴木みずえ<代表>・岡田真平<協力>)

#### 3. 学術論文

- ① H Shimura, **S Okada**, K Maruo, K Daimaru, N Deguchi, Y Fujiwara, H Sasai. Agreement Between TDK Silmee W22 and ActiGraph wGT3X-BT for Estimating Daily Step Counts and Moderate to Vigorous Physical Activity in Free-Living Adults: Comparative Study. JMIR Form Res 2025; 9: e64602.
- ② 朴相俊, 今村晴彦, **岡田真平**, 影山隆之, 一般住民に対する自殺予防教育効果の評価尺度「ゲートキーパー教育効果 評価尺度 (Gatekeeper Educational Effectiveness Assessment Scale : GEEAS)」の開発. 信州公衆衛生雑誌 20(1), 2025
- ③ M Iida, M Kogirima, R Miyake, N Ota, M Ito, A Honda, **S Okada**, S Kubori. Development and Validation of a Simplified Dietary Self-Monitoring Methods based on the Number of Food Items Consumed per Meal. Trace Nutrients Research 42: 51-57, 2025
- ④ T Abe, J Kitayuguchi, M Kamada, **S Okada**, N Fukushima, T Kidokoro, R Miyazaki, C Tanaka. Association Between Various Sedentary Behaviors and Academic Performance Among Students in Primary and Junior-high Schools: A Cross-sectional Study. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, DOI: 10.7600/jpfsm.2025.025.

#### 4. 編著書

なし

#### 5. 学会発表等

- ① 新多泰典, 佐藤照友旭, **岡田真平**. P2M を活用した高地トレーニング拠点の整備とスポーツを通じた地方創生の提案. 国際P2M学会 2025 春季研究発表大会, 横浜市, 4月19日, 2025.
- ② 今井夏子, 城所哲宏, **堤裕美**, **岡田真平**, 校庭環境と休み時間における子どもの外遊びの関連—長野県東御市の全小学校を対象とした実態調査—. 第21回こども環境学会, 高知市, 5月30日-6月1日, 2025.
- ③ **半田秀一**. 北信越ブロック活動報告. 第5回日本パラスポーツトレーナー学会学術大会, 小金井市, 6月29日, 2025.
- ④ 竹本清翔, 田中千晶, 奥田昌之, 高倉実, **岡田真平**, 田中茂穂. 幼児の社会的時差ぼけと睡眠時刻の実態. 第12回日本時間栄養学会学術大会, 東京都, 9月5-6日, 2025.
- ⑤ 酒井治子, 竹本清翔, 田中茂穂, 會退友美, 奥田昌之, 高倉実, **岡田真平**, 田中千晶. 幼児の家庭での夕食の共食頻度と手指の巧緻性との関係. 第72回日本栄養改善学会学術総会, 東京都, 9月12-14日, 2025.
- ⑥ **岡田真平**, 今井夏子, 北湯口純. 子どもの転倒と傷害予防を考える(教育講演)子どもの転倒・転落等の実態と安全対策・身体教育. 日本転倒予防学会第12回学術集会, 高崎市, 10月4-5日, 2025.
- ⑦ 安部孝文, 北湯口純, 鎌田真光, **岡田真平**. 児童・生徒における座って過ごす活動タイプと学力の関連: 横断研究. 第84回日本公衆衛生学会総会, 静岡市, 10月29-31日, 2025.
- ⑧ **半田秀一**, 新多泰典, 下平哲, 谷口耕輔. 菅平・湯の丸エリアのこれまでとこれから(パネルディスカッション). 第26回高所トレーニング国際シンポジウム, 上田市, 11月8-9日, 2025.
- ⑨ 竹本清翔, 田中千晶, 奥田昌之, 高倉実, **岡田真平**, 田中茂穂. 就学前施設に通う幼児の社会的

時差ぼけの関連要因. 日本発育発達学会第24回大会, 茨城県, 3月7-8日, 2026.

- ⑩ **堤裕美, 岡田真平**, 田中茂穂, 奥田昌之, 高倉実, 田中千晶. 保護者が認識する幼児の生活行動と加速度計で計測した幼児の身体活動量との関係: The SUNRISE Japan Study. 日本発育発達学会第24回大会, 茨城県, 3月7-8日, 2026.

## (2) 調査研究事業、健康づくり事業等の受託及び協力

	件数	のべ人数
<b>1. 調査研究事業</b>	<b>計 123 件</b>	<b>計 985 人</b>
① 東御市健康福祉部健康推進課健康増進係		
1) 5 地区別健康課題資料作成業務	-	-
2) 特定健診データ集計・分析業務	-	-
3) 高齢者保健・介護予防一体的実施事業分析業務	-	-
② 東御市健康福祉部福祉課高齢者係		
1) 地域支援事業評価分析業務	-	-
③ 東御市企画振興部 文化・スポーツ振興課スポーツ係		
1) トレーニングに係るデータ集積・分類業務	97	550
2) 湯の丸高原プール有識者会議設置及び報告書作成業務 水泳プールでの重大事故を防ぐための学習会	1	54
3) 外国人等施設利用サポート業務	1	100
④ 東御市企画振興部企画振興課 移住定住・シティプロモーション係		
1) 地域資源を活用した子育て世帯向けプロモーション事業業務	4	55
⑤ 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション		
1) モニタリング調査等業務	-	-
⑥ 日本医療研究開発機構 (AMED) 採択事業		
1) インターバル速歩の開始・継続を促進するアプリの効果検証業務	20	198
<b>2. 健康づくり事業等</b>	<b>計 564 件</b>	<b>計 7046 人</b>
① 東御市健康福祉部健康推進課健康増進係		
1) 出前講座 運動教室等指業務 (集団)	13	312
2) 健康づくり運動教室指導業務 (集団)	8	74
3) 特定健診受診者運動教室指導業務 (集団)	12	178
4) 健康づくり事業「けんこうとうみ 21+10 ミニッツ」業務	1	100
5) 糖尿病性腎症重症予防等指導業務	4	34
6) 健康コンシェルジュ事業業務	139	29
② 東御市健康福祉部福祉課高齢者係		
1) 介護予防把握事業業務 (健脚度測定 134 人、ずく出し教室 850 人、会議 201 人、関係者への指導・助言 41 人)	104	1226
2) 地域リハビリテーション活動支援事業業務 (出前講座)	28	483
3) 介護予防指導員派遣事業業務	5	52
③ 東御市健康福祉部子ども家庭支援課子ども家庭支援係		
1) 東御の子どもの元気な育ちを支える事業業務	5	74
2) 子育てフォーラム開催業務	-	-
④ 東御市企画振興部 文化・スポーツ振興課スポーツ係		
1) パラスポーツ学校訪問等事業業務	14	891
⑤ 東御市教育部教育課学校教育係		
1) 市内小中学校体力向上支援事業業務 (運動器出前講座、遊び場調査他)	-	-
2) 放課後子ども教室推進事業「げんき塾」運営業務	25	752
3) 東御市中学校ゆっるとスポーツクラブ事業業務	10	78
⑥ 東御市教育部保育課保育係		
1) 市立保育園体力運動能力評価業務	-	-
2) 市立保育園信州型保育等にかかわる活動支援業務	5	176

⑦東御市民病院 温泉診療所庶務係		
1)みまき温泉診療所 リハビリ指導助手派遣業務	24	376
2)みまき温泉診療所 リハビリテーション業務	98	595
3)東御市の各分野における推進・育成サポート業務	-	-
⑧社会福祉法人東御市社会福祉協議会		
1)くる me	5	171
⑨立科町		
1)いきいきストレッチング教室	8	302
2)たてしな保育園運動あそび指導業務	25	719
⑩一般社団法人 Sany TOMI		
1)カヌー体験	3	64
2)担当者会議	1	10
⑪星のや軽井沢		
1)森林養生リバイス支援業務	4	34
⑫その他		
1)東御市田楽平区健康サロン	10	73
2)東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	3	215
3) 合同会社まるごと(お出かけ元気クラブ)	10	28
<b>(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣</b>	<b>計 123 件</b>	<b>計 3542 人</b>
1. 授業講師		
① 佐久大学	16	207
② 長野県立大学	1	40
③ 長野救命医療専門学校	15	225
④ 信州スポーツ医療福祉専門学校	30	900
2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応	61	2170
<b>(4) 健康づくりに関する相談及び指導</b>	<b>計 80 件</b>	<b>計 2572 人</b>
1. 楽育ひろば tomi 事業		
里山探検活動「キラキラ」(2-3 歳児の親子活動)	19	167
里山探検活動「ニコニコ」(親子自然体験活動)	32	710
ボランティア研修会(安全管理講習、フィールドリーダー会議)	2	14
里山トレッキング、火のアートフェスティバル出店	2	106
元気づくり支援金事業 (プレーパーク講演会 110 人、里山フェスティバル 146 人)	4	256
2. 「みんなの健康×スポーツ」実行委員会事業		
実行委員会	3	61
とうみユニバーサルスポーツクラブ「わくわくスポーツ」	8	550
ポッチャコート常設	3	19
東部中学校 ポッチャ体験	1	80
ポッチャ審判講習会	3	61
第 22 回東御市総合スポーツ大会	1	168
とうみポッチャ～第 10 回記念大会～ (スキルアップクリニック 178 人、競技大会 202 人)	2	380
<b>(5) 講演会、講習会、研究会等の開催</b>		
1. 慶應義塾大学等関係者を迎えての多分野連携ワークショップ	1/26	55
<b>(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行</b>		
1. 「中高年のための健康スイミングと水中運動のしかたと注意」		発刊

## (7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧

1. 研究所図書室の充実

図書 1792 冊  
報告書資料 118 冊

## (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 各種団体役員等

- 1) 公益財団法人運動器の健康・日本協会理事（岡田真平）
- 2) 社会福祉法人みまき福社会理事（岡田真平）
- 3) 身体教育医学研究所うんなん運営委員（岡田真平）
- 4) NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部長（岡田真平）
- 5) 一般社団法人日本転倒予防学会業務執行理事（岡田真平）
- 6) 一般社団法人日本体力医学会評議員・総務委員（岡田真平）
- 7) 信州公衆衛生学会理事・編集委員（岡田真平）
- 8) 日本運動疫学会理事（岡田真平）
- 9) 日本パラスポーツ学会理事（岡田真平）
- 10) 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事（岡田真平）
- 11) 一般社団法人 Sany TOMI 副理事長（岡田真平）
- 12) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員（岡田真平）
- 13) 高齢化社会—ウェルビーイングマネジメントシステム国際標準化委員会委員（岡田真平）
- 14) 東御市スポーツ推進審議会委員（岡田真平）
- 15) とうみユニバーサルスポーツクラブ理事・NPO 法人東御市スポーツ協会評議員（岡田真平）
- 16) 御牧ふれあいの郷づくり協議会生活環境部会長（岡田真平）・青少年育成会部会長（谷貴人）
- 17) 第 82 回国民スポーツ大会東御準備委員会委員・専門部会員（岡田真平・堤裕美）
- 18) みんなの健康×スポーツ実行委員（岡田真平:代表・半田秀一・岡田佳澄）
- 19) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会副会長（半田秀一）
- 20) 日本パラスポーツ協会・指導者協議会トレーナー部会北信越ブロック代表（半田秀一）
- 21) 日本パラスポーツトレーナー学会理事（半田秀一）
- 22) 高所トレーニング環境システム研究会専門委員（半田秀一）
- 23) 長野県放課後児童対策推進会議委員（堤裕美）
- 24) 上田市スポーツ推進審議会委員（堤裕美）
- 25) 一般財団法人上田市スポーツ協会健康スポーツ委員会委員（堤裕美）
- 26) 東御市子育て支援審議会委員（谷貴人）
- 27) 東御市男女共同参画推進委員（谷貴人）
- 28) 北御牧地区友遊クラブ実行委員（実行委員長・谷貴人）
- 29) 楽育ひろば tomi（谷貴人）
- 30) 東信地区障がい者スポーツ指導員協議会監事（岡田佳澄）
- 31) 東御市社会教育委員（岡田佳澄）
- 32) 東御市青少年健全育成審議会委員（岡田佳澄）
- 33) 東御市地域福祉計画・活動計画策定委員会委員（岡田佳澄）
- 34) 東御市いじめ・不登校対策連絡協議会委員（岡田佳澄）
- 35) 東御市立北御牧中学校学校運営協議会委員（岡田佳澄）
- 36) 長野県オーラルフレイル対策タスクフォース構成員（横井佳代）
- 37) 東御市生活支援協議体委員（横井佳代）

2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載

- 1) 「地域発 げんきづくり支援金」選定事業（楽育ひろば tomi）を紹介（信州民報、2025. 5. 14）
- 2) 温泉アクティブセンター 25 年通い感謝の思い浸る（信濃毎日新聞、2025. 5. 21）
- 3) 市内中学校出前講座「姿勢改善ストレッチ講座」後藤智氏派遣（信濃毎日新聞、2025. 5. 24）
- 4) 里山探検活動「運動器の健康・日本賞」で奨励賞を受賞（東信ジャーナル、2025. 6. 13）
- 5) 「GMO アスリーツパーク湯の丸」日本陸連の強化拠点に選定（信濃毎日新聞、2025. 7. 1）
- 6) 武藤名誉所長 水泳を安全に楽しむために 水難事故啓発掲載（信濃毎日新聞、2025. 7. 13）

- 7) 市民へのスポーツ振興を目的「ラジオ体操キャラバン」スタート (信州民報、2025. 8. 2)
- 8) 市内小中学校教師ら 共生社会への理解深めた (信濃毎日新聞、2025. 8. 6)
- 9) 「パラスポーツ研修」市内小中学校教員や体育関係者ら約 20 人が参加(信州民報、2025. 8. 13)
- 10) 富山県入善町で岡田所長が講義 運動指導リーダー養成講座 (北日本新聞 2025. 9. 2)
- 11) 日体大の美技 体感して 東御で合宿の練習成果を披露 (信濃毎日新聞、2025. 9. 2)
- 12) 「パラスポーツ体験会」失敗も成功も挑戦した人しかもらえない (信州民報、2025. 9. 25)
- 13) 楽育ひろば tomi 主催「あそびの世界と子どもの育ち」天野秀昭氏講演会 (信州民報、2025. 10. 2)
- 14) ボッチャ普及 市内 3 公民館にボッチャ常設コートを設置 (信濃毎日新聞、2025. 10. 31)
- 15) 東京 2025 世界陸上×湯の丸 アメリカ代表チームが湯の丸で事前合宿 (市報とうみ、2025. 11. 1)
- 16) 県立大学で「平均寿命サミット」開催 県から学ぶ長寿の要因 (信濃毎日新聞、2025. 11. 23)
- 17) 和地区里山整備プロジェクトチーム 親子が集える森づくりに 40 人参加 (信州民報、2025. 11. 27)
- 18) 生き生き長生き健康とうみ 健康長寿の ACE をねらえ (市報とうみ、2025. 12. 1)
- 19) 市内在住 87 歳男性 建設票に投稿「ボッチャ面白いけど難しい」 (信濃毎日新聞、2025. 12. 2)
- 20) 市医学生への奨学金貸し付け 2026 年度医師確保目指し (信濃毎日新聞、2025. 12. 2)
- 21) 湯の丸プール 世界選手権メダリストら競泳高地合宿 (信濃毎日新聞、2025. 12. 11)
- 22) 楽育ひろば tomi 主催「遊びのチカラ」眞砂野裕氏講演会 (東信ジャーナル、2025. 12. 25)
- 23) 「パラ小学祭」みんなが笑顔で挑める大会に 児童が企画会議 (東信ジャーナル、2025. 12. 26)
- 24) 「パラ小学祭」に向け、パラリンピックメダリスト上原氏と会議 (信州民報、2025. 12. 30)
- 25) 「とうみボッチャ 10 回記念大会」「特別文化対談 福島善三×宮入法廣」 (市報とうみ、1 月号)
- 26) 東御市工業振興会 通常総会 横井指導員がストレッチングを指導 (飛躍第 72 号、2026. 1. 1)
- 27) 市内 5 小学校 5 年生がパラスポーツを通して交流 (信濃毎日新聞、2026. 1. 14)
- 28) 特別文化対談 福島善三×宮入法廣 東御で語り合う火と鉄の匠 (信濃毎日新聞、2026. 1. 14)
- 29) パラスポーツを通じて助け合うことを学ぶ 約 200 人の小学生が交流 (信州民報、2026. 1. 16)
- 30) ふるさと納税返礼品 市「体験型に力」里山探検体験型なども用意 (信濃毎日新聞、2026. 1. 17)
- 31) 「国際女性デー」東御市「男らしさ」への意識テーマに講演 (信濃毎日新聞、2026. 3. 9)
- 32) スポーツ庁が表彰 パラスポーツ楽しむ地域づくりに優秀賞 (信濃毎日新聞、2026. 3. 13)

### 3. その他

- 1) 東京大学教育学部キャンプ実習受け入れ (2025. 7. 23-7. 26)
- 2) 開成高等学校野球部合宿受け入れ (2025. 7. 25-7. 28)
- 3) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 (SPH) インターンシップ杉橋洸氏受け入れ (2025. 8. 4-8. 8)
- 4) 運動神経科学研究会 (東京大学日本大学等合同) ゼミ合宿受け入れ (2025. 8. 25-8. 26)
- 5) 名桜大学(沖縄県)人間健康学部スポーツ健康学科 インターンシップ柴原由美子氏受け入れ (2025. 9. 1-9. 8)
- 6) 明治大学澤井和彦ゼミ合宿受け入れ (2025. 9. 8-9. 9)
- 7) 東京健康リハビリテーション総合研究所合宿受け入れ (2025. 9. 11-9. 12)
- 8) 日本体育大学城所研究室・明治安田厚生事業団体力医学研究所合同研究会 (2025. 10. 8-10. 9)
- 9) 香川県庁・身体教育医学研究所うんなん・長野県立大学合同情報交換会 (2025. 11. 23)
- 10) 人間国宝・福島善三氏と刀匠・宮入法廣氏との特別文化対談受け入れ (2025. 12. 5-12. 6)
- 11) 愛知県大府市「健康増進・交流拠点施設 (仮称)」関連視察受け入れ (2025. 12. 18)
- 12) 東京大学教育学部「保健体育科教育法」現地講義受け入れ (2026. 1. 7)
- 13) 慶應義塾大学・栃木県鹿沼市等の合同による多職種連携ワークショップ (2026. 1. 26-1. 27)
- 14) 第 5 回 Sport in Life アワード優秀賞 (団体部門)「Para Sport in Life for Everyone～誰もがパラスポーツを楽しむ地域づくり～」 (2026. 2. 17)
- 15) 日本体育大学杉田研究室・飛騨御嶽高地トレーニングエリア報告受け入れ (2026. 3. 5-3. 6)
- 16) 日本体育大学城所研究室・Costan Magnussen 先生 (Tasmanian Institute of Sport) 視察・情報交換会受け入れ (2026. 3. 11)
- 17) 大田区保健所・長野県立大学より東御ウェルネスツーリズム現地検討受け入れ (2026. 3. 16)

金メダリスト杉村氏も参加! とうみボッチャ10回記念大会が開催!



▲杉村選手と和小火の玉チームのドリームチャレンジ

11月30日、東御中央公園第1体育館で「みんなの健康×スポーツ」実行委員会主催の「とうみボッチャ〜第10回記念大会〜」が開催されました。

節目となる第10回大会には、スペシャルゲストとして、東京2020パラリンピック・ボッチャ個人金メダリストの杉村英孝氏（TOKIO インカラミ所属）、日本ボッチャ協会強化スタッフの内藤由美子氏をお迎えしました。

競技大会には、市内外から32チーム・155名が参加し、最年少5歳から最年長93歳まで幅広い世代が熱戦を繰り広げました。会場は終始、白熱した試合と温かな応援の声に包まれました。

「伝統工芸の未来」を語る 特別文化対談を開催

12月6日、梅野記念絵画館で現在開催中の企画展「刀剣 一刃が映す東御の歴史（けしき）」の関連企画として、特別文化対談「福島善三×宮入法廣」を北御牧中学校で開催しました。

この文化対談では、重要無形文化財「小石原焼」の保持者である陶芸家の福島善三氏と、長野県無形文化財保持者であり刀剣作家の宮入法廣氏の異なる分野を極めてきた二人をお迎えしました。両氏は、素材と向き合う姿勢や技法の継承のあり方、そして未来の伝統工芸に広がる可能性について語り合い、参加者にとって大変貴重で深い学びの時間となりました。

本展は1月12日（月・祝）まで開催していますので、ぜひ足をお運びください。



▲特別文化対談の様子

第7912号 第二種郵便物認可

東信ジャーナル

2025年(令和7年)12月25日(木曜日) (2)

フリーパークは、子どもたちが想像力で工夫して「遊び」を作り出すことができる遊び場。「自分の責任で自由に遊ぶ」というモツ

東御市の地域団体「楽育ひろばtomii」はこのほど、市民向け講演会「学校にプレイパークをつくってみよう」を開催し、同市大日向の北御牧公民館で開いた。

東御市の地域団体「楽育ひろばtomii」はこのほど、市民向け講演会「学校にプレイパークをつくってみよう」を開催し、同市大日向の北御牧公民館で開いた。同団体が、県の地域発元気づくり支援金を活用して進めている「子どものサンマを取り戻せ!とうみプレイパークプロジェクト」の一環として実施。プロジェクトでは、芸術むら公園にある活動拠点のプレイパーク（冒険遊び場）化、関連のワークショップ、講演会などを実施している。



学校プレイパークについて説明する真砂野校長

この講演会の講師は東京都昭島市立光華小学校の真砂野裕校長。真砂野校長は2023年度から、校庭を活用した「学校プレイパーク」の取り組みを、児

童や教職員、地域と共に進めている。講演の中で、土山やモンキーブリッジなどがある同校の学校プレイパークと、そこでの子どもたちの遊び方、教員の関り方などを紹介。子どもたちは主体的に行動していて、担任は口を出すことを控え、まずは見守るようにしたという。

真砂野校長は、学校プレイパークに取り組む理由となった学校方針について「私たちの6年間の最上級の目標は、子どもたちが学校を出た後、自分の生活や、できれば地域、できれば社会、できればこの国を少し変えていく力、変革する力を獲得すること。そのため、学校のテーマを『まずやってみよう、私の学校は私がつくる』とした」と説明。

そして「初めからプレイパークを作ろうと考えたわけでは無い

東御市「パラ小学祭」inとうみに2000人  
パラスポーツを通じて助け合うことを学ぶ

和小5年竹組児童が企画運営に取り組み！

東御市中央公園第1体育館・第2体育館で13日、『パラ小学祭inとうみ』が開かれ、約2000人の小学生がパラスポーツを楽しんだ。市では平成25年度から「みんなの健康×スポーツ」実行委(岡田真平会長を中心に、誰もが

身近でスポーツに親しめる地域、共生社会の実現を目指して様々な取り組みを進めている。その一環として令和6年度から市内全小・中学校でパラスポーツ体験を中心とした「パラスポーツ教育プログラム」を実施中だ。今回の「パラ小学祭」は、

この日は市内5小学校の5年生8クラス、計約200人が参加。開会式では、まず和小5年竹組の児童6人が前に立ち準備運動を開始する。最後に体育館いっばいに広がり、約200人全員で一

つづいて、今年度、総合的な学習で「パラスポーツ」をテーマにポッチャを取り組み、様々な経験を得てきたことから大会の企画・運営を引き受け、今回のスペシャルサポーター、パラアイスホッケー銀メダリスト・上原大祐さん(44)と企画を練ってきた。

今回の大会の企画運営に取り組んだのは、和小5年竹組の児童24人。同クラスでは今年度、総合的な学習で「パラスポーツ」をテーマにポッチャを取り組み、様々な経験を得てきたことから大会の企画・運営を引き受け、今回のスペシャルサポーター、パラアイスホッケー銀メダリスト・上原大祐さん(44)と企画を練ってきた。

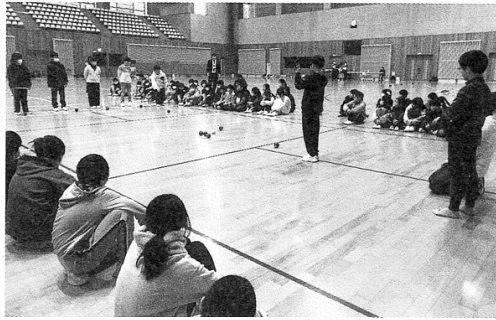
的だ。今回の大会の企画運営に取り組んだのは、和小5年竹組の児童24人。同クラスでは今年度、総合的な学習で「パラスポーツ」をテーマにポッチャを取り組み、様々な経験を得てきたことから大会の企画・運営を引き受け、今回のスペシャルサポーター、パラアイスホッケー銀メダリスト・上原大祐さん(44)と企画を練ってきた。



準備運動の間も車いすで走り回る上原さん



ゴール前でボールの取り合いする「ポートボール」



ポッチャのルールを説明する寺島さん(写真右)



4コートに分かれてポッチャがスタートした

「協力」することの大切さを学ぶ。ポッチャの説明を担当した、同竹組スポーツ担当の寺島澄高さんは「いろいろ助けてもらったけど、内容が届いてよかった」と笑顔だ。会場中を飛び回っていた上原さんは、取材に「竹組が頑張ってくれて毎回ミーティングのたびに成長していることを実感した。大成功だ」と話した。岡田会長は「パラ小学祭はパラスポーツが、どんな子どもたちにも楽しいことをわかっただけでなく、障がいに対する学びにつなげていく」とし、「楽しく自然に学びが深まっていくので、大事な」と話していた。

この日は市内5小学校の5年生8クラス、計約200人が参加。開会式では、まず和小5年竹組の児童6人が前に立ち準備運動を開始する。最後に体育館いっばいに広がり、約200人全員で一

第5回Sport in Lifeアワード 団体部門 優秀賞

Table with award details: Project Name (Para Sport in Life for Everyone), Winner (公益財団法人身体教育医学研究所), Location (長野県東御市), URL (https://pedam.org/)

①取組の経緯: 障がいのある人が楽しくからだを動かせる場づくりからの発展. Includes a flowchart showing the organizational structure and support network.

②事業の概要と特徴: パラスポーツのインクルーシブな特性を活かし、多世代・多対象を巻き込んだ取り組み. Includes a flowchart and a table of activities.

③取組によってスポーツ人口の拡大が期待されるポイント: 支える人材の充実で、パラスポーツ振興をさらに持続可能なものに. Includes a table of statistics and a photo of the event.

### Ⅲ. 決算の状況

#### Ⅲ－１. 貸借対照表

#### 貸借対照表

令和8年 3月31日現在

公益財団法人 身体教育医学研究所

(単位:円)

科 目	当期	前期	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	23,123,008	21,130,084	1,992,924
未収金	4,522,906	7,807,316	△ 3,284,410
仮払金	140,250	0	140,250
流動資産合計	27,786,164	28,937,400	△ 1,151,236
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	4	4	0
什器備品	2,311,164	1,938,028	373,136
有形固定資産合計	2,311,168	1,938,032	373,136
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	138,270	230,450	△ 92,180
権利	308,791	348,212	△ 39,421
無形固定資産合計	447,061	578,662	△ 131,601
固定資産合計	2,758,229	2,516,694	241,535
資産合計	30,544,393	31,454,094	△ 909,701
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	3,227,508	4,956,045	△ 1,728,537
預り金	638,188	529,096	109,092
賞与引当金	2,730,363	2,317,949	412,414
流動負債合計	6,596,059	7,803,090	△ 1,207,031
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,843,001	3,843,512	999,489
固定負債合計	4,843,001	3,843,512	999,489
負債合計	11,439,060	11,646,602	△ 207,542
<b>III 純資産の部</b>			
1. 指定純資産	1,343,060	2,953,400	△ 1,610,340
2. 一般純資産	17,762,273	16,854,092	908,181
純資産合計	19,105,333	19,807,492	△ 702,159
負債及び純資産合計	30,544,393	31,454,094	△ 909,701

### Ⅲ－２．活動計算書

## 活動計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

		(単位:円)		
		当期	前期	増減
<b>I 経常活動区分</b>				
経常収益				
資産運用益		23,902	877	23,025
事業収益				
公1事業収益		22,477,166	23,722,950	△ 1,245,784
公2事業収益		19,250,820	16,700,409	2,550,411
公3事業収益		21,129	140,043	△ 118,914
法人事業収益		4,024,406	3,463,645	560,761
受取補助金等		6,000,000	5,500,000	500,000
受取寄附金		10,300,000	13,369,533	△ 3,069,533
雑収益		10,495	4,423	6,072
	経常収益計	62,107,918	62,901,880	△ 793,962
経常費用				
事業費				
公1事業費		22,488,948	23,816,282	△ 1,327,334
公2事業費		22,752,061	18,610,432	4,141,629
公3事業費		5,398,922	5,608,817	△ 209,895
公益事業共通費		11,363,308	4,932,697	6,430,611
管理費		806,838	3,774,661	△ 2,967,823
	経常費用計	62,810,077	56,742,889	6,067,188
	経常収益費用差額	△ 702,159	6,158,991	△ 6,861,150
<b>Ⅱ その他活動区分</b>				
その他収益				
	その他収益計	0	0	0
その他費用				
	その他費用計	0	0	0
	その他収益費用差額	0	0	0
	税引前当期収益費用差額	△ 702,159	6,158,991	△ 6,861,150
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0
	法人税等調整額	0	0	0
	当期収益費用差額	△ 702,159	6,158,991	△ 6,861,150

### Ⅲ－３．資産及び負債の状況

(単位:円)

科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>流動資産</b>			
現金預金	普通預金 八十二銀行田中支店	運転資金として	770,653
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	1,869,793
	当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	運転資金として	2,296,501
	普通預金 八十二銀行田中支店	特定資産であり、公益目的事業を実施するための資金である。	3,000,000
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益充実資金1	9,000,000
	当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	(指定寄附資金1)	993,060
	当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	(指定寄附資金2)	350,000
	当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	特定資産であり、退職給付のための資金である。	4,843,001
未収金	東御市他	事業費等に対する未収分	4,522,906
仮払金	(福)みまき福祉会	仮払に対する未収分	140,250
<b>固定資産</b>			
1. 有形固定資産			
車両運搬具	(公益目的保有財産 1～4)	(公益目的保有財産 1～4)	4
什器備品	(公益目的保有財産 5～24)	(公益目的保有財産 5～24)	2,311,164
2. 無形固定資産			
ソフトウェア	(公益目的保有財産 25)	(公益目的保有財産 25)	138,270
権利	(公益目的保有財産 26)	(公益目的保有財産 26)	308,791
<b>資産合計</b>			<b>30,544,393</b>
<b>流動負債</b>			
未払金	(福)みまき福祉会他に対する未払額	事業費等の未払分	3,227,508
預り金	役職員他に対するもの	源泉所得税等の預り金	638,188
賞与引当金	職員に対するもの	職員6名に対する6月賞与の支払いに備えたもの	2,730,363
<b>固定負債</b>			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	4,843,001
<b>負債合計</b>			<b>11,439,060</b>
<b>純資産合計</b>			<b>19,105,333</b>

## 令和7年度 社会福祉法人みまき福祉会 事業経営報告（法人本部）

### 基本理念

「いつまでもすこやかに生き生きと安心して暮らし続けたい」

その願いをかなえる核となります。

#### ◇基本理念の達成に向けて、私たちが取り組む姿勢

みまき福祉会では法人の基本理念に立ち返り、その人らしさを支えていく心を育みながら、これからもより良く生きる地域づくりを目指し、次の5つの行動指針を掲げ活動してきました。

- ① お客様を大切にすること。
- ② 心のこもった笑顔と言葉づかいをすること。
- ③ 安全、安心に向けた取り組みを進めていくこと。
- ④ 支え支えられの精神を常にもって行動すること。
- ⑤ 職員が生き生きと働く職場づくりを目指していくこと。

#### ◇行動指針（求める人材像）

（求める人材像）

- ・共に働く仲間を認め合い、常に感謝の気持ちを持ちます。
- ・常にご利用者の立場に立って、粘り強くあきらめないサービスを提供します。
- ・高齢者及び障がい者の多様化、高度化、複雑化に対応できる総合的な専門知識と技術を有し、自律的に行動できるよう目指します。

### 1. 総括

令和7年度は、全国的に人口減少と高齢化が加速し、特に地方部では介護・医療・生活支援の需要が増大する一方、福祉人材の確保が一層困難となる年でした。長野県においても例外ではなく、地域の担い手不足、独居高齢者の増加、複合的課題を抱える世帯の増加、災害リスクの高まりなど、地域福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。

国の制度面では、介護・障害福祉分野における処遇改善の一本化や生産性向上（ICT・DX）推進が強く求められ、社会福祉法人には「地域共生社会の実現に向けた公益的役割」が改めて期待されました。また、BCP義務化や感染症対策の継続など、法人運営におけるリスクマネジメントの重要性も高まりました。

こうした社会情勢の中で、当法人は基本理念である「いつまでもすこやかに生き生きと安心して暮らし続けたい」という地域の願いを実現するため、令和7年度事業経営計画に基づき、法人全体で組織運営の強化、サービスの質向上、人材育成、地域貢献の4本柱に取り組みました。

その結果、法人としての基盤強化と地域福祉への貢献を着実に前に進むことができ、次期中期経営計画（令和8～12年度）策定へとつながる成果を得ることができました。

### 2. 令和7年度 事業報告（法人統括）

#### （1）法人経営の安定化

##### ①ガバナンス強化

- ・令和7年度までの第3次中期経営計画の振り返りと評価を実施し、課題整理と成果の可視化を行いました。
- ・第4次中期経営計画（令和8～12年度）策定に向け、全職員参加型の検討プロセスを実施しました。全職員からのアンケート結果をもとに計画素案を作成することで、組織の方向性

を共有する機会が増え、全職員が参加しての計画策定をすることができました。

- ・事業所間の連携を密にし、縦割りから横へつながる組織の一体化を目指し、チームで他部署をカバーできる新たな組織の体制を整備しました。新組織の機能が最大化できるよう都度見直しをかけていきます。
- ・法人本部による全事業所対象の内部監査を6月より毎月実施し、事業所ごとの予算管理やサービス管理の改善点を明確化しました。事業所とコミュニケーションを密にとることで、課題整理とサービス品質向上意識を共有することができました。
- ・BCP（業務継続計画）の見直しを行い、感染症・災害時の対応手順を再確認しました。地元区の区長さんや地元消防団との合同訓練の実施により、緊急時の地域との連携を確認することができました。

②新規事業の検討・推進

- ・こども、障がい、高齢など多様な地域ニーズを踏まえ、複数の新規事業案を検討しました。地域ニーズの調査を継続し、地域資源との連携を強化しながら、補助金や予算化を含め、実現に向け計画をしていきます。

③変革推進プロジェクトの実施

- ・変革推進プロジェクト活動報告

	名称	活動実績	課題と今後の取組み
1	組織・経営プロジェクト	<p>①先進的な取り組みを行う法人への視察として、日本財団「未来の福祉建築プロジェクト」採択法人である社会福祉法人薫英会（群馬）を訪問。常務理事より法人運営や新規事業に関する説明を受け、幹部との意見交換・関係構築を実施。</p> <p>②当法人の新たな組織体制構築に向け、組織図の素案を作成・提案し、組織編制の検討に参画。従来の事業所単位での縦割り構造ではなく、複数事業所を「一つのチーム」として再定義し、チーム内で人的資源を柔軟に補完し合う体制を提案した。</p> <p>③事業所報告会において、プロジェクトメンバーを中心に企画・運営を担い、組織横断的な取り組みとして報告会を成功に導いた。</p>	<p>①視察等で得た知見を法人内へ伝達・展開する為の仕組み化が不十分であった。外部視察で得た知見の共有の為の発表の場など設けていく。</p> <p>②新組織図作成の意図をチームリーダークラスへ伝達していく計画であったが、実際には取り組みはなされなかった。組織体制について継続的な関与をしていく。</p> <p>③報告会の企画運営を担ったことで、プロジェクトメンバーの主体性や事業所横断的な連携が強化され、組織内の一体感醸成にも寄与し、当会の取り組みを地域や関係者に認知して頂く機会となった。</p>
2	ICT推進プロジェクト	<p>①福祉 mover システムを利用した送迎外部委託の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉 mover システムによる送迎委託により専門職が専門職として業務を行える体制を拡大した。</li> </ul> <p>②施設サービスの ICT 化に向けた活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特養への見守り機器導入における先行事例研究のため他施設への視察を行った。</li> <li>・特養内業務のタイムスタディを実施し、間接業務の可視化と課題の調査を行った。</li> <li>・特養のシフト作成支援ソフトウェアを導入</li> </ul>	<p>①送迎外部委託を拡大する中でリース車両の契約見直しによるコストの削減に至っていない。使用頻度の確認とあわせリース契約の見直しを行う。</p> <p>②特養での見守り機器導入についてはサービスの質の向上における目標設定を明確にする。また、専門家の支援を得るため県の伴走支援事業の申請を行う。平行して間接業務削減のためAIの活用を推進する。</p> <p>③ご利用者・ご家族と法人との連絡ツ-</p>

		<p>し、作成業務時間を 1/3 へ削減した。</p> <p>③ケアプランデータ連携システム等の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供票および実績に係る事務負担軽減を目的としてケアプランデータ連携システム、東御市医療介護情報共有システムの導入を行った。</li> </ul>	<p>ル導入と活用、ケアプランデータ連携システムを始めとした各オンラインシステムの普及を推進し、コストと事務負担を削減、直接支援の充実を通じてサービスの質の向上に繋げる。</p>
3	サービス管理委員会	<p>①サービスの質の向上を目指すため、第三者評価を受ける方向で活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価機関の選定➡しなの福祉教育総研に決定。</li> </ul> <p>②委員会メンバーと運営会議メンバーに向けて高齢者福祉サービス版自己評価シート(現場職員編)の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果分析…組織としての強みや弱みを知ることができた。「基礎的にはできているが改善が必要」と感じている職員が多いことがわかる。</li> </ul>	<p>①令和8年度前半に、「特養」において福祉サービス第三者評価の審査を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受審に向けた手続き、準備を進める。</li> <li>・受審結果を受けて、事業運営における</li> </ul> <p>②課題点を把握し PDCA サイクルにつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員が同じ方向に向けて取り組めるように周知していく。</li> </ul> <p>③評価結果の公表を行う。</p>
4	地域貢献(つながり)プロジェクト	<p>①ごぜ唄の会の活動に参加した。</p> <p>②福祉の森ふれあいフェスティバルに職員を派遣した。</p> <p>③ケアポート祭と温泉マルシェを合同イベントとして秋に開催した。</p> <p>④雷電祭りに互助会と協力しながら参加した。</p> <p>⑤北御牧中学校1年生に対し、認知症サポーター養成講座を開催した。</p>	<p>①温泉マルシェと連動した「ケアポート祭」、ごぜ唄の会や福祉フェスタへの関りを継続する。</p> <p>②地域の学校等と協力し、福祉に関する教育のサポートをする。</p> <p>③地域の声を聞く仕組みや、SNS 発信方法の検討を行い、法人のブランド力の向上を目指す。</p>
5	人材育成・研修委員会	<p>①人材育成 福祉会が求める人材像の育成 「待遇」について悩んだ。 委員より組織風土改革、サーバントリーダーシップ等の問題提起。プロジェクト内で考えた。</p> <p>②研修委員会 感染症研修で東御市民病院感染管理認定看護師青木氏による講義と特養等でのゾーニング等への助言。</p> <p>③東御消防署職員による救急救命研を実施。ケアマネ試験対策講座(全6回)合格者1名。4法人研修を実施。</p>	<p>①人材育成 求める人材像(職位が求める人材)の育成。 土台となる人材、専門職としてチームの一員となる人材、組織をまとめる人材の3段階でのプログラム作成。</p> <p>②研修委員会 特に認知症、虐待防止等の研修。 ※研修は実施できるが、理解や実践に差がある。 ※ケアマネ試験対策講座(8回) 令和7年度対策講座受講者が合格できるような内容とする。</p>
6	魅力発信	<p>①広報誌の発行 6月、9月、12月、3月、計4回の企画、編集。</p> <p>②SNSの発信 インスタグラムを活用し、全70回の発信。</p> <p>③30周年記念Tシャツの制作 デザイン企画、全職員分とりまとめ、発注。</p>	<p>①新プロジェクトへの統合による引継ぎ 広報誌、SNSを活用した情報発信の継続を法人本部と連携し運営を検討。</p>

	<p>④事業所報告会での報告 ショート動画を作成し、取組みの報告とともに地域へ発表した。</p> <p>⑤視察研修 SNSの活用で魅力発信をし、人材を多く確保している千葉県の(福)佑啓会への視察を実施。</p>	
--	---	--

## (2) サービスの質の向上

### ①サービス提供環境の整備

- ・各事業所との運営や体制等の相談の機会として、事業所ヒアリングを実施し、様々なサービス特性に応じた人員配置・環境整備を進め、ご利用者満足度の向上を目指す意識を共有しました。
- ・職員の専門知識やさらなる技術習得のための研修会を開催し、職員の専門性向上を支援しました。

### ②ケアプラン（個別支援計画）の充実

- ・ご利用者本位の支援計画の作成を促し、生活の継続性や生きがい支援を重視したケアの実践につなげました。
- ・多職種による連携や、事業所間の連携を強化し、より総合的な支援体制を構築しました。

### ③業務効率化・生産性向上

- ・ICTを活用した業務効率化を目指し、タイムスタディによる職員の現状業務の洗い出しを実施しました。職員が専門職としての本来業務に注力でき、サービスの品質向上を目指したICT導入を検討しました。

## (3) 人材育成（人材確保）

### ①働きやすい職場環境づくり

- ・介護職員等处遇改善加算等の取得と、事業所の目標達成等により、職員の処遇改善を実施しました。
- ・職員の目標管理等について管理者が定期的に面談を実施することで、心理的安全性の高い職場づくりを推進しました。

### ②キャリアパス・人事考課制度の見直し

- ・わかりやすいキャリアパス制度を目指し、役職基準表を6段階へと変更しました。等級を細分化することにより、役職の責任や求められる役割を明確にしました。
- ・等級ごとの役割や評価の視点を明確化することにより、職員の個人目標管理や管理者による人事考課の根拠がわかりやすくなりました。

### ③法人の魅力発信

- ・魅力発信チームが中心となり、広報誌やインスタグラムを活用し、法人の取り組みを積極的に発信しました。
- ・ケアポートまつりの開催や温泉マルシェや雷電まつりへの参加、地域のゴミ拾い活動や認知症サポーター養成講座の講師派遣など、様々なイベントを通じて地域の方々との交流を積極的に行いました。
- ・事業所報告会を開催し、法人の取り組みを地域へ報告することができました。

(4) 地域貢献（公益的取り組み）

①長野県 SDGs 推進企業としての活動

・「誰一人取り残さない」の理念のもと、地域の持続可能性を高める取り組みを意識し、環境整備、福祉教育、地域連携などの取り組みを行いました。

②公益的取り組みの実践

当法人ではこれからも地域に貢献する社会福祉法人としてその役割を果たしていくため「住み慣れた地域で暮らし続けたい」その思いを大切にしながら、これからも地域ニーズに耳を傾け、当法人の資源（ハード・ソフト・システム）を活用した事業を進めていきます。

要件	地域における公益的な取り組み
社会福祉・公益事業のサービス	1) 総合支援事業の非該当者の健康づくり自主事業。 （一般筋トレ、その他介護保険外自主事業の推進。） 2) ホームヘルパーによる自主事業「あったかサービス」の提供。
地域生活を支援するサービス	1) 御牧ふれあいの郷づくり協議会の生活環境部会での活動。 2) 地域防災訓練（施設避難場所提供）の開催。 3) ボッチャの普及活動。
無料・低額なサービス	1) 特別養護老人ホーム等での法人減免。 2) 障がい者のアクティブセンター水泳指導。 3) 子ども等の居場所づくり「くるme」の社協との協働。 4) 健康づくりに向けた「500 kcal バランス弁当」（献立：管理栄養士）の提供、配食支援など。

【資金収支の状況】

（単位：円）

区分		法人全体	本部事業拠点	施設事業拠点	在宅事業拠点	ユニバーサル事業拠点
事業活動 収支	収入	1,009,029,780	2,527,423	383,350,433	397,736,314	225,415,610
	支出	940,233,411	42,774,482	336,089,429	349,522,530	211,846,970
	差額	68,796,369	△40,247,059	47,261,004	48,213,784	13,568,640
施設整備等 収支	収入	0	0	0	0	0
	支出	68,481,280	0	34,958,250	29,264,300	4,258,730
	差額	△68,481,280	0	△34,958,250	△29,264,300	△4,258,730
その他 活動 収支	収入	35,389,380	33,239,500	77,000	22,880	2,050,000
	支出	35,389,380	149,880	11,038,000	14,551,000	9,650,500
	差額	0	33,089,620	△10,961,000	△14,528,120	△7,600,500
資金収支差額		315,089	△7,157,439	1,341,754	4,421,364	1,709,410

## 3. 事業拠点ごとの活動実績

拠点区分	活動の内容・実績
法人本部 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所ヒアリング（運営、体制等の相談）</li> <li>・各事業所への本部巡回による内部監査の実施（6月から毎月実施）</li> <li>・日本財団新人研修の受入、日本財団先進事業視察研修の派遣</li> <li>・変革推進プロジェクトの運営</li> <li>・BCP策定後のフォローアップ、地域連携防災訓練の実施</li> <li>・法人内研修、キャリアパス研修の推進</li> <li>・新組織体制の検討と再編</li> <li>・新キャリアパス体制への検討と改定</li> <li>・経理、労務事務等のDX化検討、給与明細の電子化</li> <li>・第4次中期経営計画の策定</li> </ul>
ケアポート みまき 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養…入居者 66 人、平均介護度 4.0 要介護 3=14 人、要介護 4=31 人、要介護 5=22 人 平均年齢 91.1 歳 退去者 22 人（うち看取り 19 人）</li> <li>・栄養課…毎月特別食、行事食の提供、ひまわり弁当 13,214 食/年</li> <li>・診療所…東御市委託（看護師 1 人配置） 往診件数 1,328 件/年（+47 件）</li> </ul>
在宅総合支援 センター 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイきた…定員 30 人、利用者 8,217 人/年（88.1%）（+84）</li> <li>・デイあぜだ…定員 9 人、利用者 2,067 人/年（89%）（+93）</li> <li>・みはらしの郷…定員 18 人、利用者 3,502 人/年（69.2%）（-468）</li> <li>・よつ葉サロン…利用者 626 人/年（-94）</li> <li>・トレーニングセンターみまき…利用者 1,893 人/年（+155）</li> <li>・リハサロンみまき…利用者 185 名/年（-81）</li> <li>・運動特化型 L I F E…利用者 2,130 人/年（+293）</li> <li>・マネージ…計画実績 1,830 件/年（+170）、 予防支援 232 件/年（+100）、予防委託 22 件/年（-30）</li> <li>・訪問看護…訪問回数 4,828 件/年（-142） 延べ利用者 1,403 人（+2） 在宅看取り 29 人</li> <li>・ヘルパー…訪問回数 3,312 件/年（-606）</li> <li>・ショート…定員 20 人 利用者 6,568 人/年（90.01%）（+966） 看取 3 人</li> <li>・ほのぼのホーム…定員 9 人、運営推進会議 6 回、訪看連携</li> <li>・通所ほのぼの…利用者 3 名、延べ利用者数 664 名（+405）</li> </ul>
ユニバーサル ワーク センター 事業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援…特定相談、計画 56 件/年（+1）、モニタリング 222 件 児童相談、計画 24 件/年（+12）、モニタリング 83 件</li> <li>・ヘルパー障がい…同行援護 160 件/年（-58）、移動支援 271 件/年（-10） 家事援助 433 件/年（-27）、福祉有償運送 410 件/年（-372）</li> <li>・ユニバーサル…A型延べ 1,579 名/年（-92）平均賃金 113,117 円/月（-26,839） B型延べ 2,627 名/年（-241）平均工賃 26,854 円/月（+721）</li> <li>・K i U…B型延べ 1,696 名/年（+409）平均工賃 30,299 円/月（+8,933）</li> <li>・マイソミ…登録利用者数 8 人、延べ利用者 1,341 人/年（R7.2月～新規事業）</li> <li>・アクティブ…会員数 922 人（+36）（内 Jr スイミング 291 人（+8）） 利用者 延べ 84,370 人/年（+21,269）（前年 63,101 人対比 133.7%）</li> <li>・御牧乃湯…利用売上 35,254,870 円/年、来館者数 96,241 名/年（-2,351）</li> <li>・道の駅（売店）…売上 19,083,672 円/年、利用者 22,305 名/年（+1,310）</li> <li>・みまき苑…総売上 12,489,012 円/年、総来客数 8,322 名/年（-2,232）</li> </ul>

※（ ）内±数値は前年度比

## 4. その他の活動実績

## 職務執行状況の報告

## (1) 事業経過報告

令和7年	4月	2日	新年度辞令交付式 運営会議 新年度職員全体会
		3日	湯の丸プール学習会
		4日	武藤先生打合せ
		7日	しんたいミーティング
		14日	入所調整委員会
		15日	和地区民生児童委員視察受入（カフェみまき苑）
	15～18日		ケアポートよしだ研修受入2名（介護予防・運動特化型）
		16日	経営戦略会議
		18日	理事・監事・評議員懇談会
		19日	大石区視察受入（ケアポートみまき）
		25日	評議員選任解任委員懇談会
		27日	おんせん de マルシェ
		29日	柵津歌舞伎（ほのぼのホーム入居者参加）
	5月	7日	運営会議
		9日	第1回理事会
		9日	東御市男女共同参画推進委員会
	14日～16日		日本財団新人職員研修受入7名
		16日	評議員選任・解任委員会
		16日	北御牧中1年生認知症学習会
		20日	衛生委員会
		21日	経営戦略会議 しんたいミーティング
		22日	長野県経営協総会 福祉経営セミナー
		23日	機能訓練関係者懇談会
		26日	決算監査会 しんたい監査会
		27日	4法人新人研修
		29日	県高齢協総会・研修会
		31日	しんたい理事会
	6月	3日	日本財団打合せ
		4日	運営会議
		5日	信毎取材（高齢者雇用企業）
	6月	6日	第2回理事会
	9日～16日		管理者面談
		10日	東御市議会全員協議会（決算報告） 4法人中堅職員研修
	12日～13日		関東ブロック老人福祉施設研究総会
		14日	長野県社会福祉士会総会・まるごと学会
		15日	特養家族会 齋藤文護先生特別講演会
		17日	4法人施設長研修
		18日	経営戦略会議

		内部監査（法人本部より各事業所へ）
	19日	すずらん会親睦旅行 しんたい評議員会 北御牧小学校交流会 ICTプロジェクト研修視察
	21日	おんせんマルシェ
	23日	第三者委員会 ほのぼの運営推進会議/家族会
	25日	第1回評議員会 第3回理事会
	26日	川上村より視察
	27日	栄養課保健所指導
7月	2日	運営会議
	7日	しんたいミーティング
	9日	Caféみまき苑プロジェクト
	10日～12日	ケアポート庄川へ先進地視察（日本財団、東御市）
	14日	望月悠玄福祉会より（職員交流研修）
	14日～28日	ストレスチェック（衛生委員会）
	16日	経営戦略会議 長野県看護協会研修講師（佐藤常務理事）
	16日～18日	本部内部監査
	17日	参議院議員選挙不在者投票（特養）
	18日	理事・評議員懇談会/懇親会
	20日	参議院議員選挙（ふれあいホール）
	22日	衛生委員会 長野県経営青年会経営セミナー
	23日～24日	北御牧中2年生職場体験
	29日	4法人デイサービス研修
	30日	退職者の会
8月	2日	雷電まつり
	6日	運営会議 主任研修
	8日	デイあぜだ車両入魂式 はまなすの里理事長来訪
	10日～11日	はまなすの里夏祭り支援
	12日	親子ふれあい朝市 特養ICT事業打合せ
	14日	みまきドカンコ
	19日	衛生委員会
	20日	経営戦略会議
	20日～22日	本部内部監査
	22日	障がい者GH現地調査 望月悠玄福祉会交流会（特養ボッチャ）
	25日	ほのぼの運営推進会議
	28日	ケアポートまつり実行委員会 Caféみまき苑改プロジェクト
	29日	障がい者GH改修補助金申請締切
	31日	東御市防災訓練 ケアポート総合防災訓練

9月	1日	辞令交付
	3日	運営会議
	3日～5日	日本財団研修
	5日	デイあぜだ運営推進会議
	8日	民生児童委員会（北御牧地区）
	10日	日本財団監査（リニューアル工事）
11月	1日～2日	東京リハ総研合宿
	17日	経営戦略会議
	24日	みはらしの郷運営推進会議
	25日	特養敬老訪問（東御市）
	29日	第4回理事会
10月	1日	運営会議/辞令交付 職員全体会
	4日～5日	転倒予防学会
	5日	ケアポートまつり 30周年感謝祭/温泉マルシェ
	8日	ケアポート田んぼ稲刈り
	15日	経営戦略会議
	16日	北御牧中1年生福祉体験学習
	17日	B&G財団施設整備委員会
	18日	とうみボッチャ大会 ほのぼの運営推進会議
	20日	しんたいミーティング
	21日	4法人交流会（ボッチャ）
22日～23日		法人内部監査（本部巡回）
	25日	福祉の森ふれあいフェスタ ごぜ唄の会
	27日	台湾より実習生受入（～1/21）
	29日	県看護協会研修
	30日	ケアポート田んぼ脱穀
11月	5日	中間決算監査会 運営会議
	6日	悠玄福祉会との交流職員報告会、懇談会
	11日	しんたいミーティング
	12日	男女共同参画企業訪問
	13日	B&G教育長会議・研修会
	14日	しんたい理事会 小川村研修
	15日	温泉 de マルシェ
	16日	東御市連協ボッチャ大会
	19日	経営戦略会議
26日～27日		法人内部監査（本部巡回）
	29日	あぜだ感謝祭
	30日	ボッチャ交流大会
12月	3日	運営会議
	5日	ほのぼの運営推進会議
	15日	第三者委員会
	17日	経営戦略会議
18日～19日		臨時職員雇用ヒアリング

	22日	しんたいミーティング、懇親会
	24日	きつずクリスマス会
24日～25日		法人内部監査（本部巡回）
	25日	県実地指導 AM デイきた、PM ヘルパー
	26日	理事会・評議委員会合同会議、懇親会 仕事納め
1月	5日	仕事始め
	6日	東御市長へ新年あいさつ
	7日	運営会議、管理者研修、運営会議新年会
	13日	パラ小学祭 in とうみ
	16日	台湾実習生振り返りの会、夕食会
	18日	特養家族会、交流会
	20日	上小地区農村女性のつどい
	21日	経営戦略会議
	22日	マネージメントセンター実地指導
	23日	B&G財団全国サミット
	24日	第21回事業所報告会
	26日	経営協北関東信越ブロック災害担当企画研修
	27日	新年度チーム体制等打合せ
28日～29日		法人内部監査（本部巡回）
2月	2日	しんたいミーティング
	3日	東御市福祉避難所協定式 4 法人研修会議
	4日	運営会議、研修会（渡辺こうじ氏） 不在者投票
	4日～6日	身体教育医学研究所うんなん会議、視察
9日～13日		新年度事業計画予算ヒアリング
	12日	全国経営協経営セミナー
	16日	県青年会セミナー 一体化事業全体会議
	18日	経営戦略会議
	21日	意思決定支援と人生会議/齋藤先生講演
25日～26日		法人内部監査（本部巡回）
	28日	信毎セミナー
3月	2日	厚労省「介護フォーラム」オンライン
	4日	運営会議
	6日	あぜだ運営推進会議
	8日	北御牧地区冬季スポーツ大会
	9日	福祉の職場説明会 しんたいミーティング
	10日	(株)ケアネット視察
	11日	職員採用試験
	13日	立科町教育委員会打合せ（アクティブ） 東御市社協理事会 しんたい理事会
	18日	経営戦略会議
	20日	ほのぼの・みはらし防災訓練 健康増進学術大会

24日	すずらん会総会
25日	リニューアル工事引渡後1年点検
25日～26日	法人内部監査（本部巡回）
26日	ほのぼのホーム、通所ほのぼの实地指導
27日	第5回理事会 LIFE 運営推進会議
30日	新任職員研修 防災訓練
31日	辞令交付 退職者の会

## ご寄付者報告

No	受付年月日	贈与者氏名	受贈品・寄附金	摘要
1	R7. 4. 2	匿名様	ボックスティッシュ	
2	R7. 4. 4	吉池千恵子様	肌着	
3	R7. 4. 13	赤尾 昭義様	野菜	
4	R7. 4. 28	竹内 信子様	紙おむつ他	
5	R7. 5. 8	山浦 義代様	野菜	
6	R7. 5. 9	小林和賀子様	紙おむつ他	
7	R7. 5. 9	匿名様	シルバーカー他	
8	R7. 5. 20	有賀 博様	シルバーカー他	
9	R7. 5. 20	青木かおり様	紙パンツ他	
10	R7. 5. 27	匿名様	野菜	
11	R7. 6. 12	荒井 良勝様	野菜	
12	R7. 6. 12	山浦 義代様	野菜	
13	R7. 6. 18	武井 正次様	野菜	
14	R7. 6. 24	匿名様	タオル他	
15	R7. 6. 25	清水 勉様	野菜	
16	R7. 6. 25	匿名様	タオル他	
17	R7. 6. 30	荻原 広実様	ひな人形飾り	
18	R7. 7. 3	青木 久明様	野菜	
19	R7. 7. 12	(株)アサヒ緑健様	飲物	
20	R7. 7. 21	匿名様	紙パンツ他	
21	R7. 7. 26	武井 香子様	野菜	
22	R7. 7. 26	東御電気(株)様	花束	

23	R7. 7. 25	渡辺 茂樹 様	野菜	
24	R7. 8. 8	匿 名 様	タオル	
25	R7. 8. 9	武井 儀和 様	シルバーカー	
26	R7. 8. 6	山浦 義代 様	野菜	
27	R7. 8. 22	山浦 義代 様	野菜	
28	R7. 8. 22	匿 名 様	衣類	
29	R7. 8. 27	武井 正次 様	野菜	
30	R7. 9. 1	匿 名 様	野菜	
31	R7. 9. 4	匿 名 様	野菜	
32	R7. 9. 9	匿 名 様	野菜	
33	R7. 9. 12	匿 名 様	紙オムツ他	
34	R7. 9. 24	匿 名 様	冷蔵庫他	
35	R7. 9. 29	丸山 和 様	白米	
36	R7. 10. 2	匿 名 様	DVDセット	
37	R7. 10. 16	匿 名 様	野菜	
38	R7. 10. 20	高藤 直利 様	駄菓子	
39	R7. 10. 21	荒井 良勝 様	野菜	
40	R7. 11. 4	匿 名 様	野菜	
41	R7. 11. 5	青木 久明 様	野菜	
42	R7. 11. 7	匿 名 様	野菜	
43	R7. 11. 11	匿 名 様	米	
44	R7. 11. 23	山浦 千明 様	野菜	
45	R7. 12. 1	大熊 節男 様	りんご	
46	R7. 12. 2	山浦 千明 様	野菜	
47	R8. 1. 6	内川 徹 様	紙オムツ等	
48	R8. 1. 6	中村 崇 様	紙オムツ等	
49	R8. 1. 15	小泉真知子 様	紙オムツ等	
50	R8. 2. 12	井出 進一 様	野菜	
51	R8. 2. 15	匿 名 様	ティッシュ等	
35	R7. 9. 29	丸山 和 様	白米	
36	R7. 10. 2	匿 名 様	DVDセット	
37	R7. 10. 16	匿 名 様	野菜	
38	R7. 10. 20	高藤 直利 様	駄菓子	

39	R7. 10. 21	荒井 良勝 様	野菜	
40	R7. 11. 4	匿 名 様	野菜	
41	R7. 11. 5	青木 久明 様	野菜	
42	R7. 11. 7	匿 名 様	野菜	
43	R7. 11. 11	匿 名 様	米	
44	R7. 11. 23	山浦 千明 様	野菜	
45	R7. 12. 1	大熊 節男 様	りんご	
46	R7. 12. 2	山浦 千明 様	野菜	
47	R8. 1. 6	内川 徹 様	紙オムツ等	
48	R8. 1. 6	中村 崇 様	紙オムツ等	
49	R8. 1. 15	小泉真知子 様	紙オムツ等	
50	R8. 2. 12	井出 進一 様	野菜	
51	R8. 2. 15	匿 名 様	ティッシュ等	

## 【令和7年度 理事会・評議員会の開催状況】

会議	回	開催日	内 容
理 事 会	第1回	5月9日(金)	(1) 第1号議案 定款細則の一部改正について (2) 第2号議案 ショートステイ・ケアポートみまき運営規程の一部改正について (3) 第3号議案 温泉アクティブセンターの料金改定について (4) 第4号議案 次期評議員候補者の推薦について ※出席状況：理事4名 監事2名
	第2回	6月6日(金)	(1) 第1号議案 令和6年度 事業報告及び決算認定について (2) 第2号議案 令和7年度 資金収支補正予算(第1号)について (3) 第3号議案 次期理事候補者の推薦について (4) 第4号議案 次期監事候補者の推薦について (5) 第5号議案 定時評議員会の開催について ※出席状況：理事6名 監事2名
	第3回	6月25日(水)	(1) 第1号議案 みまき福祉会 理事長の選定について (2) 第2号議案 みまき福祉会 常務理事の選定について (3) 第3号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について ※出席状況：理事6名 監事2名
	第4回	9月29日(月)	(1) 第1号議案 就業規則の一部改正について (2) 第2号議案 給与規則の一部改正について (3) 第3号議案 事務処理規則の一部改正について (4) 第4号議案 運営規程の一部改正について (5) 第5号議案 多機能型事業所ユニバーサルワークセンターみまき及びK i U工賃規程の一部改正について (6) 第6号議案 施設長の選任について ※出席状況：理事6名 監事2名
	第5回	3月27日(金)	(1) 第1号議案 令和8年度事業計画(案) 予算(案)について (2) 第2号議案 第4次中期経営計画の制定について (3) 第3号議案 食費の変更に伴う運営規程の一部改正について ・ユニバーサルワークセンターみまき運営規程 ・児童発達支援事業所マイソミ運営規程 (4) 第4号議案 組織体制の変更に伴う運営規程の一部改正について ・全事業所の一括改正 (5) 第5号議案 役員賠償責任保険の契約について ※出席状況：理事6名 監事1名

会議	回	開催日	内容
評議員会	第1回	6月25日(水)	(1) 第1号議案 令和6年度事業報告及び決算認定について (2) 第2号議案 次期理事の選任について (3) 第3号議案 次期監事の選任について ※出席状況：評議員6名 監事2名

会議	回	開催日	内容
理事・評議員合同懇談会	第1回	4月18日(金)	会議事項 (1) 役員の変更について ※出席状況：理事3名 評議員1名 監事1名
	第2回	7月18日(金)	報告事項 (1) 令和7年度新役員体制について (2) 事業報告 ①運動特化型LIFEの取組み ②ユニバーサルワークセンターの取組み ③次期中期経営計画(案)について 懇談会(意見交換) テーマ「地域づくり、地域連携、ケアポートみまきの役割とは」 ※出席状況：理事6名 評議員6名 監事2名
	第3回	12月26日(金)	報告事項 (1) 中間決算監査の報告について (2) 第4次中期経営計画(令和8年度～令和12年度)素案について (3) 令和8年度事業計画(案)について ※出席状況：理事6名 評議員4名 監事1名

## 令和7年度 職員研修実績一覧表

## みまき福祉会職員研修プログラム

研修名	期 日	内 容	参加者
職員全体会議 法人職員基礎研修 (虐待防止・認知症・感染症予防)	R7. 4. 2(水)	全職員研修 (オンライン)	
法人内管理者研修 (講師・西澤茂洋センター長)	① R7. 5. 7 ② R7. 8. 6	① 人事考課研修 (主任以上対象) ② 「福祉経営」とは(主任以上対象)	20 名
法人内キャリアパス研修 (虐待防止・ハラスメント・倫理研修) (講師・西澤茂洋センター長)	R7. 6/5. 16 R7. 7/1. 24 R7. 8/4. 28	正規職員対象	66 名
令和7年後介護支援専門員試験対策講座 7月～10月計9回開催 参加者延べ23名 (講師・田中拓哉施設長)			
職員全体研修 法人職員基礎研修 (虐待防止・認知症・感染症予防)	R7. 10. 1(水)	全職員研修 (オンライン)	62 名
感染症対策研修会 (講師・東御市民病院 主任看護師 感染管理認定看護師 青木誠礼氏)	R7. 10/15. 22 R7. 11/12. 19	感染症対策は誰のため? 標準予防策・実技	58 名
心肺蘇生・救急法・AED操作	R7. 12. 1 (月)	救命処置手順 (心肺蘇生) AED使用手順・実技	17 名
法人内独自研修(チームリーダー以上)	R7. 11. 26(水)	生成AI活用研修 意見交換	7 名
4 法人合同研修 (新入職員研修)	R7. 5. 27 (金)	グループワーク (大樹会)	33 名 (4名)
4 法人合同研修 (中堅職員研修)	R7. 6. 10 (火)	リーダーシップの発揮、キャリアデザイン 他 (恵仁福祉協会)	28 名 (3名)
4 法人合同研修 (事業運営課題研修)	R7. 6. 17 (火)	事業運営課題研修・意見交換会 (依田窪福祉会)	12 名 (2名)
4 法人合同研修 (通所事業所研修)	R7. 7. 29 (火)	事業運営課題とより良いサービス提供について (みまき福祉会)	19 名 (2名)
4 法人合同交流会	R7. 10. 21 (火)	「ボッチャ」交流会	47 名 (9名)
令和8年度新任職員研修 (新入職員・ 正規登用職員)	R8. 3. 30 (月)	「ケアポートみまき」について 就業規則・給与規則	4 名

## キャリアパス研修（長野県社会福祉協議会主催）

研修名	期日	参加者
OJTリーダー養成課程	R7.6.27（金）R7.7.25（金） 佐久市あいとびあ白田 佐久市交流文化館浅科	荻原 由香 中澤 綾子
福祉職員生涯研修 【中堅職員課程】	R7.7.23（水）～24（木） JA 長野県総合研修所	依田 めぐみ
福祉職員生涯研修 【管理者課程】	R7.10.7（火）～8（水） 佐久市あいとびあ白田	伊藤 聡
福祉職員生涯研修 【新任管理者課程】	R7.11.6（木） JA 長野県総合研修所	須田 真衣 笹沢 真奈美 宮澤 優里
福祉職員生涯研修 【チームリーダー課程】	R7.11.20（木）～21（金） 佐久市あいとびあ白田	柳澤 寅泰

社会福祉事業区分 資金収支内訳表  
(自)令和 7年 4月 1日(至)令和 8年 3月31日

資料No. 4

(単位:円)

勘定科目		本部事業拠点	ケアポートみまき事業拠点	在宅総合支援センターみまきの家事業	ユニバーサルワークセンターみまき事業	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入							
	介護保険事業収入		344,943,814	383,647,924		728,591,738		728,591,738
	児童福祉事業収入				396,800	396,800		396,800
	就労支援事業収入				146,338,364	146,338,364		146,338,364
	障害福祉サービス等事業収入			942,950	78,282,196	79,225,146		79,225,146
	医療事業収入			11,425,024		11,425,024		11,425,024
	その他の事業収入	1,566,000	11,966,503			13,532,503		13,532,503
	経常経費寄附金収入	149,880				149,880		149,880
	受取利息配当金収入	8,735	118,813	115,954	22,174	265,676		265,676
	その他の収入	802,808	26,321,303	1,604,462	376,076	29,104,649	△ 6,738,374	22,366,275
事業活動収入計(1)	2,527,423	383,350,433	397,736,314	225,415,610	1,009,029,780	△ 6,738,374	1,002,291,406	
支出								
人件費支出	34,425,196	197,869,801	249,320,501	62,352,436	543,967,934		543,967,934	
事業費支出	0	96,955,099	54,050,363	2,851,647	153,857,109		153,857,109	
事務費支出	8,349,286	35,845,407	43,087,711	6,352,260	93,634,664	△ 6,738,374	86,896,290	
就労支援事業支出			0	140,133,608	140,133,608		140,133,608	
支払利息支出		1,057,390	2,031,386	157,019	3,245,795		3,245,795	
その他の支出		4,361,732	1,032,569		5,394,301		5,394,301	
事業活動支出計(2)	42,774,482	336,089,429	349,522,530	211,846,970	940,233,411	△ 6,738,374	933,495,037	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 40,247,059	47,261,004	48,213,784	13,568,640	68,796,369	0	68,796,369	
施設整備等による収支	収入							
	施設整備等収入計(4)							
	支出							
	設備資金借入金元金償還支出		30,000,000	19,170,000	503,800	49,673,800		49,673,800
固定資産取得支出		4,958,250	9,056,300	3,167,530	17,182,080		17,182,080	
ファイナンス・リース債務の返済支出			1,038,000	587,400	1,625,400		1,625,400	
施設整備等支出計(5)		34,958,250	29,264,300	4,258,730	68,481,280		68,481,280	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 34,958,250	△ 29,264,300	△ 4,258,730	△ 68,481,280		△ 68,481,280	
その他の活動による収支	収入							
	拠点区分間繰入金収入	33,239,500	77,000	22,880	2,050,000	35,389,380	△ 35,389,380	0
	その他の活動収入計(7)	33,239,500	77,000	22,880	2,050,000	35,389,380	△ 35,389,380	0
	支出							
拠点区分間繰入金支出	149,880	11,038,000	14,551,000	9,650,500	35,389,380	△ 35,389,380	0	
その他の活動支出計(8)	149,880	11,038,000	14,551,000	9,650,500	35,389,380	△ 35,389,380	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	33,089,620	△ 10,961,000	△ 14,528,120	△ 7,600,500	0	0	0	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 7,157,439	1,341,754	4,421,364	1,709,410	315,089	0	315,089	
前期末支払資金残高(11)	25,964,283	90,399,019	178,526,348	△ 83,091,224	211,798,426		211,798,426	
当期末支払資金残高(10)+(11)	18,806,844	91,740,773	182,947,712	△ 81,381,814	212,113,515	0	212,113,515	

# 第3期（令和7年度） 事業報告

自 令和7年4月1日  
至 令和8年3月31日

株式会社エコパワーとうみ

## 1. 事業概要

ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加え、中東地域における地政学的リスクの高まりや世界的なエネルギー需給の不安定化を背景として、燃料価格は依然として高い水準で推移しており、我が国の物価や電力料金に大きな影響を及ぼしています。特に電気料金については、燃料費調整額の上昇や電力調達コストの増加などにより、家庭・事業者双方において負担感が増しており、エネルギー安全保障の観点からも、諸外国の情勢に左右されにくい、再生可能エネルギーを活用した安定的かつ持続可能な電力供給体制の構築が喫緊の課題となっています。

このような状況において、東御市が目指す「2050年までのゼロカーボンシティとうみ」の実現に向け、東御市全域において「再生可能エネルギーへの転換」を推進するとともに、東御市内のエネルギー代金の域外流出を抑え、地域経済の活性化を図るため、地域で生み出した電力を地域内で消費する「エネルギーの地産地消」の取組を推進し、東御市を持続可能なまちとして次世代へ引き継ぐことが、当社に課せられた使命であります。

これらの使命を果たすことを念頭に、第3期においては、東御市が実施する地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業（重点対策加速化事業）と連携し、公共施設等を対象とした公共施設等 PPA 事業（太陽光発電設備・定置型蓄電池設置）や公共施設への電力取次販売事業を推進するとともに、第4期で本格稼働を予定している大規模オフサイト PPA 事業の建設工事を完了いたしました。稼働開始後は、再生可能エネルギーの供給力拡大と地域内エネルギー循環のさらなる強化が図られ、当社事業の一層の飛躍と地域脱炭素化への貢献につながるものと期待しております。

(1) 公共施設等 PPA 事業 (太陽光発電設備・定置型蓄電池設置)

令和6年度事業である滋野児童館、令和7年度への繰越事業である総合福祉センターの2施設は、令和7年11月より本格稼働開始となりました。

さらに、繰越事業の北御牧グラウンドならびに令和7年度事業であるワインテラス御堂の施設について、太陽光発電設備の設置が完了し、一部稼働開始となっております。

各施設における余剰電力の売電についても、順次開始する予定です。

<電力供給実績>

【令和7年11月～令和8年3月】

電力供給施設名	発電出力 (kWh/5か月)	請求額 (円/5か月)	余剰電力 売電開始時期
滋野児童館	2,858	67,010	令和8年12月
総合福祉センター	26,312	705,519	
<b>合計</b>	<b>29,170</b>	<b>772,529</b>	

※価格はすべて税込です。

<稼働状況>

箇所名	発電出力 (kW)	稼働開始時期	余剰電力 売電開始時期
北御牧グラウンド	740.5	令和8年9月	
ワインテラス御堂	16.80	令和8年5月	令和8年5月
<b>合計</b>	<b>757.3</b>		

(2) 公共施設への電力取次販売事業

東御市が実施する「エネルギーサービスプロバイダー業務(電力調達価格入札)」において、当社は令和7年6月まで市内公共施設21施設に電力供給を行い、同年7月以降(令和7年7月～令和8年3月)は対象施設が7施設増え、計28施設へ電力供給(取次販売)を実施しました。

また、令和7年4月から令和8年3月までの1年間において、株式会社アドバンテック様が調達した電力7,125,545kWhを各公共施設へ供給し、同社との取次契約に基づき4,219,996円の利益を計上しました。

<電力供給実績>

【令和7年4月～令和8年3月】

番号	電力供給施設名	電力供給量 (kWh/年)	売上額 (円/年)	取次料 (円/年)
1	東御市役所	702,423	21,997,280	21,294,857
2	北御牧総合支所	161,433	4,405,318	4,377,334
3	子育て支援センター	48,361	1,518,049	1,469,688
4	田中保育園	106,949	3,112,345	3,092,220
5	滋野保育園	77,262	2,186,905	2,174,878
6	和保育園	68,454	2,144,087	2,057,633
7	柵津保育園	76,613	2,245,460	2,230,818
8	総合福祉センター	202,657	6,089,875	6,040,566
9	海野宿滞在型交流施設	66,343	2,042,445	1,976,102
10	田中小学校	150,748	4,724,054	4,573,306
11	滋野小学校	100,831	3,178,842	3,078,011
12	和小学校	118,589	3,734,098	3,715,408
13	北御牧小学校	157,174	4,944,309	4,787,135
14	柵津小学校	109,029	3,433,789	3,324,760
15	北御牧学校給食センター	170,779	5,226,931	5,056,052
16	東部中学校	488,862	13,610,660	13,514,077
17	北御牧中学校	209,362	6,015,612	5,978,660
18	中央公民館	162,484	5,100,143	4,937,659
19	第1体育館	166,520	5,222,657	5,056,137
20	文化会館	392,549	12,323,482	11,930,933
21	北御牧保育園	54,699	1,663,596	1,608,897
22	東御市民病院	1,593,290	43,457,951	41,864,661
23	西入水源浄化施設	172,480	3,884,712	3,884,712
24	東部浄化センター	1,039,448	26,069,121	26,069,121
25	農林漁業体験実習館	523,159	12,373,849	12,373,849
26	温泉健康複合施設	413,221	10,035,487	10,035,487
27	湯の丸高原特設プール	634,813	14,608,952	14,608,952
28	湯の丸ヴィレッジ本館	93,505	2,182,045	2,182,045
合 計		7,125,545	227,531,954	223,311,958

※取次料金には再エネ賦課金、容量拠出金等が含まれています。

※価格はすべて税込です。

## 2. 当社の現況（令和8年3月31日現在）

### （1）従業員の状況

	男性		女性		計
	正社員	その他	正社員	その他	
期首 (令和7年4月1日)	1	0	0	0	1
期末 (令和8年3月31日)	2	0	0	0	2

### （2）資本金の推移

資本金	期首（令和7年4月01日）	11,000,000円
	期末（令和8年3月31日）	11,000,000円

### （3）株式の状況（年度末現在）

ア. 株式数	発行可能株式数	800株
	発行済株式の総数	220株

イ. 株主数 4名

ウ. 株主及び持株数	東御市	120株
	株式会社アドバンテック	60株
	株式会社信州東御市振興公社	20株
	脱炭素推進機構株式会社	20株

(4) 取締役及び監査役の他社（自治体）との兼職状況

(令和8年3月31日現在)

役職名	氏名	兼務状況
代表取締役	掛川 卓男	長野県東御市 副市長
取締役	花岡 利夫	長野県東御市 市長
取締役	石本 祐子	株式会社アドバンテック 代表取締役
取締役	木下 卓	脱炭素推進機構株式会社 代表取締役
取締役	田丸 基廣	株式会社信州東御市振興公社 代表取締役
監査役	清水 初太郎	株式会社アヅマ 代表取締役
監査役	後藤 誠	株式会社長野三洋化成 専務取締役

(5) 取締役・監査役と会社の取引状況

なし

(6) 取締役・監査役に支払った報酬額

0円

以上

# 決 算 報 告 書

( 第 3 期 )

自 令和 7 年 4 月 1 日  
至 令和 8 年 3 月 31 日

株式会社エコパワーとうみ

長野県東御市県281番地2

## 貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
<b>【流動資産】</b>	<b>【 68,651,559】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 47,971,124】</b>
現金及び預金	27,068,778	一年内返済長期借入金	1,332,600
前払費用	72,392	未払金	46,447,324
未収消費税	18,371,398	未払法人税等	191,200
未収入金	23,138,991	<b>【固定負債】</b>	<b>【 114,081,200】</b>
<b>【固定資産】</b>	<b>【 107,358,525】</b>	長期借入金	114,081,200
(有形固定資産)	( 107,358,525)		
機械装置	18,340,506	負債の部合計	162,052,324
建設仮勘定	89,018,019		
		純資産の部	
		<b>【株主資本】</b>	<b>【 13,957,760】</b>
		(資本金)	( 11,000,000)
		資本金	11,000,000
		(利益剰余金)	( 2,957,760)
		繰越利益剰余金	2,957,760
		純資産の部合計	13,957,760
資産の部合計	176,010,084	負債及び純資産の部合計	176,010,084

自 令和 7 年 4 月 1 日  
至 令和 8 年 3 月 31 日

## 損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
収 入 金	207,549,550	207,549,550
【売 上 原 価】		
取 次 料	203,010,876	
合 計	( 203,010,876)	203,010,876
売 上 総 利 益		( 4,538,674)
【販売費及び一般管理費】		
減 価 償 却 費	1,443,097	
賃 借 料	34,330	
支 払 手 数 料	295,900	
租 税 公 課	13,950	
保 険 料	337,253	
雑 費	546	2,125,076
営 業 利 益		( 2,413,598)
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	24,846	
雑 収 入	39	24,885
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息	584,884	584,884
経 常 利 益		( 1,853,599)
【特 別 利 益】		
補 助 金 収 入	87,127,000	87,127,000
【特 別 損 失】		
固 定 資 産 圧 縮 損	87,127,000	87,127,000
税引前当期純利益		( 1,853,599)
法人税、住民税及び事業税		560,803
当 期 純 利 益		( 1,292,796)

## 株主資本等変動計算書

	自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日 単位 円			
	株主資本			
	資本金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 利益剰余金 合計	株主資本 合計
当期首残高	11,000,000	1,664,964	1,664,964	12,664,964
当期変動額				
当期純損益金		1,292,796	1,292,796	1,292,796
当期変動額合計		1,292,796	1,292,796	1,292,796
当期末残高	11,000,000	2,957,760	2,957,760	13,957,760
				純資産合計
				12,664,964
				1,292,796
				1,292,796
				13,957,760

## 個 別 注 記 表

自 令和 7 年 4 月 1 日  
至 令和 8 年 3 月 31 日

- I. この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。
- II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
- (1) 固定資産の減価償却の方法
    - ① 有形固定資産  
定率法を採用しております。
  - (2) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
    - ① 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。
- III. 株主資本等変動計算書に関する注記
- (1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 220株

東御市土地開発公社決算報告について

令和 7 年 度

東 御 市 土 地 開 発 公 社

事 業 報 告 書

決 算 報 告 書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

## 令和7年度 東御市土地開発公社事業報告書

### (1) 事業の概要

地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資するため、「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づいて設立された東御市土地開発公社の令和7年度の事業概要は次のとおりです。

#### ① 公有地取得事業の用地

平成26年度の市による買戻しをもって、現在、公社所有地については保有がありません。

#### ② 経理状況

経常的な販売費及び一般管理費の支出を行いました。

### (2) 理事会決議事項

議案番号	件名	議決年月日
議案第1号	令和6年度東御市土地開発公社決算について	令和7年5月16日
議案第2号	令和8年度東御市土地開発公社予算について	令和8年2月16日

### (3) 公有地取得事業用地における土地取得及び売却に関する事項

#### 《土地取得》

用地の名称	取得面積 (㎡)	取得額 (円)
代行用地	0	0
合計	0	0

#### 《土地売却》

用地の名称	売却面積 (㎡)	売却額 (円)
代行用地	0	0
合計	0	0

# 令和7年度 財産目録

令和8年3月31日現在

## 資産の部

単位 円

区 分		金 額		備 考
1 流動資産				
(1) 現金及び預金	普通預金	9,145,426		
	定期預金	28,000,000		
		小計	37,145,426	
(2) 公有用地	取得費	0		
	造成費	0		
	事務費	0		
	支払利息	0		
		小計	0	
(3) 代行用地	取得費	0		
	造成費	0		
	事務費	0		
	支払利息	0		
		小計	0	
(4) 代替用地	取得費	0		
	造成費	0		
	事務費	0		
	支払利息	0		
		小計	0	
流動資産合計			37,145,426	
2 固定資産				
(1) 有形固定資産	車両運搬具	0		
(2) 投資その他の資産		0		
固定資産合計			0	
資産合計			37,145,426	

## 負債の部

単位 円

区 分		金 額		備 考
1 流動負債				
(1) 流動負債	短期借入金	0		
	預り金	910		
	修繕引当金	3,303,355		
		小計	3,304,265	
流動負債合計			3,304,265	
2 固定負債				
(1) 固定負債	預り保証金	0		
	特別修繕引当金	0		
		小計	0	
固定負債合計			0	
負債合計			3,304,265	

## 純資産の部

単位 円

区 分		金 額		備 考
1 資本金				
(1) 基本財産		8,000,000		
		小計	8,000,000	
資本金合計			8,000,000	
2 準備金				
(1) 前期繰越準備金		26,191,307		
		小計	26,191,307	
(2) 当期純利益		△350,146		
		小計	△350,146	
準備金合計			25,841,161	
純資産合計			33,841,161	

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日現在

単位 円

		資 産 の 部	
【流動資産】			
現金及び預金		37,145,426	
公有用地		0	
代行用地		0	
	流動資産合計		37,145,426
	資産の部合計		37,145,426
		負 債 の 部	
【流動負債】			
短期借入金		0	
預り金		910	
修繕引当金		3,303,355	
	流動負債合計		3,304,265
【固定負債】			
預り保証金		0	
特別修繕引当金		0	
	固定負債合計		0
	負債の部合計		3,304,265
		純 資 産 の 部	
【資本金】			
基本財産		8,000,000	
	資本金合計		8,000,000
【準備金】			
前期繰越準備金		26,191,307	
当期純利益		△350,146	
	準備金合計		25,841,161
	純資産の部合計		33,841,161
	負債及び純資産の部合計		37,145,426

## 損 益 計 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日  
至 令和 8 年 3 月 31 日

単位 円

【事業収益】			
公有地取得事業収益	0		
土地造成事業収益	0		0
【事業原価】			
公有地取得事業原価	0		
土地造成事業原価	0		
合 計	0		0
	事業総利益		0
【販売費及び一般管理費】			385,526
	営業利益		△385,526
【事業外収益】			
受取利息	35,380		
雑収益	0		35,380
【事業外費用】			
支払利息	0		0
	経常利益		△350,146
【特別利益】			
その他特別利益	0		
普通引当金取崩額	0		
特別引当金取崩額	0		0
	税引前当期純利益		△350,146
	当期純利益		△350,146

販売費及び一般管理費

自 令和 7 年 4 月 1 日  
至 令和 8 年 3 月 31 日

単位 円

報酬	64,600
賃金	0
広告宣伝費	0
旅費	3,182
交際費	0
需用費	245,864
役員業務費	880
委託料	0
負担金補助及び交付金	0
公租公課	71,000
使用料・賃借料	0
団地修繕整備費	0
寄付金	0
雑費	0

販売費及び一般管理費合計

385,526

キャッシュ・フロー計算書

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

(単位：円)

I 事業活動によるキャッシュ・フロー	
公有地取得事業収入	0
土地造成事業収入	0
その他事業収入	2,210
土地造成事業支出	0
取得に係る支出	0
管理に係る支出	0
その他事業支出	△1,300
人件費支出	△64,600
その他の業務支出	△320,926
小計	<u>△384,616</u>
利息の受取額	35,380
利息の支払額	0
事業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△349,236</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金預入による支出	0
現金預金の払戻による収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>0</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入による収入	0
短期借入金の返済による支出	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>0</u>
IV 現金及び現金同等物増減額	△349,236
V 現金及び現金同等物期首残高	37,494,662
VI 現金及び現金同等物期末残高	<u>37,145,426</u>

## 注 記 事 項

自 令和7年4月 1日  
至 令和8年3月31日

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

公有用地・・・個別法による原価法

完成土地等・・・個別法による原価法

ただし、時価が取得原価に比べておおむね50%以上下落したときは  
近い将来明らかに回復する見込みがあると認められる場合を除き、  
時価で評価しています。

代替地・・・個別法による原価法

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

定額法を採用しています。

#### 3. 引当金の計上基準

修繕引当金・・・・・・修繕等で発生すると見込まれる額を計上しています。

特別修繕引当金・・・・・・将来発生すると見込まれる大規模な改修費用の額を計上し  
ています。

## 附 属 明 细 表

(様式第1号)

令和7年度現金及び預金明細表

科目	種類	金融機関名	金額 (円)	摘要
現金	—		0	
預金	普通	信州うえだ農協 東御支所	109,492	
		(株)八十二銀行 田中支店	1,877,588	
		上田信用金庫 とうみ支店	7,158,346	
	定期	信州うえだ農協 東御支所	28,000,000	
計			37,145,426	

(様式第4号)

令和7年度公有用地明細表

資産区分	期首残高		当期増加高							当期減少高		期末残高		摘要	
	面積 m <sup>2</sup>	金額 円	面積 m <sup>2</sup>	用地費 円	補償費 円	工事費 円	測量試験費 円	諸経費 円	支払利息 円	計 円	面積 m <sup>2</sup>	金額 円	面積 m <sup>2</sup>		金額 円
			該当なし												
合計	0.00	0	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0

(様式第5号)

令和7年度代行用地明細表

資産区分	期首残高		当期増加高							当期減少高		期末残高		摘要	
	面積 m <sup>2</sup>	金額 円	面積 m <sup>2</sup>	用地費 円	補償費 円	工事費 円	測量試験費 円	諸経費 円	支払利息 円	計 円	面積 m <sup>2</sup>	金額 円	面積 m <sup>2</sup>		金額 円
			該当なし												
合計	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00	0	0

令和7年度有形固定資産明細表

(様式第11号)

資産の種類	取得原価 A	当期増加額 B	当期減少額 C	期末残高 (A+B-C) D	当期減価 償却額 E	減価累計 額 F	差引期末残高 D-F	摘 要
車両その他の 運搬具	円 該当なし	円	円	円	円	円	円	
計	0	0	0	0	0	0	0	

令和7年度短期借入金明細表

(様式第14号)

借入先	利率	期首残高	当期増加高	当期減少高	期末残高	備 考
	%	円	円	円	円	
	該当なし					
計		0	0	0	0	

令和7年度 資本金明細表

(様式第16号)

区分	出資団体名	出資額	摘要
基本財産	東御市	円 8,000,000	
計		8,000,000	

令和7年度 引当金明細表

(様式第17号)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
修繕引当金	円 3,303,355	円 0	円 0	円 0	円 3,303,355	
計	3,303,355	0	0	0	3,303,355	

(様式第 20 号)

令和7年度 事業収益明細表

科 目		金額 (円)	摘 要
公有地取得 事業収益	公有用地売却収益	0	
	代行用地売却収益	0	
	特定土地売却収益	0	
	代替地売却収益	0	
合 計		0	

(様式第 21 号)

令和7年度 事業原価明細表

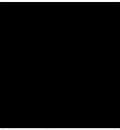
科 目		金額 (円)	摘 要
公有地取得 事業原価	公有用地売却原価	0	
	代行用地売却原価	0	
	特定土地売却原価	0	
	代替地売却原価	0	
合 計		0	

## 令和7年度決算監査報告書

東御市土地開発公社定款第23条の規定により、令和7年度会計の決算及び証拠書類の監査を実施したところ、適切かつ正確に処理されていることを認めます。

令和8年4月27日

東御市土地開発公社

監事 塩川 壽友 

監事 斉藤 哲 

# 防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業について

- **事業名** 「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」事業（財源：日本財団助成金）
- **支援元** 公益財団法人 B & G財団 【所在地：東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル9F】
- **内容**  
 災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な**防災倉庫の整備、油圧ショベルやスライドダンプ、救助艇などの機材配備**に加え、**重機研修などの人材育成にかかる費用について支援**を行うとともに、**周辺自治体との災害時相互応援協定の締結**など災害時の支援体制づくりを推進する。
- **支援金** 2,700万円【4,000万円-1,300万円（現物支給：スライドダンプ、油圧ショベル）】【防災拠点の整備事業】  
 300万円【人材育成事業】
- **要件**
  - ・消防（消防署、消防団等）、防災担当部署などが連携し、重機等配備機材の活用に関する定期的な研修の実施
  - ・4年目以降も自治体予算や各種補助金を活用して人材育成・重機等機材管理を継続 など

## ○防災拠点の整備事業（必須）【初年度】

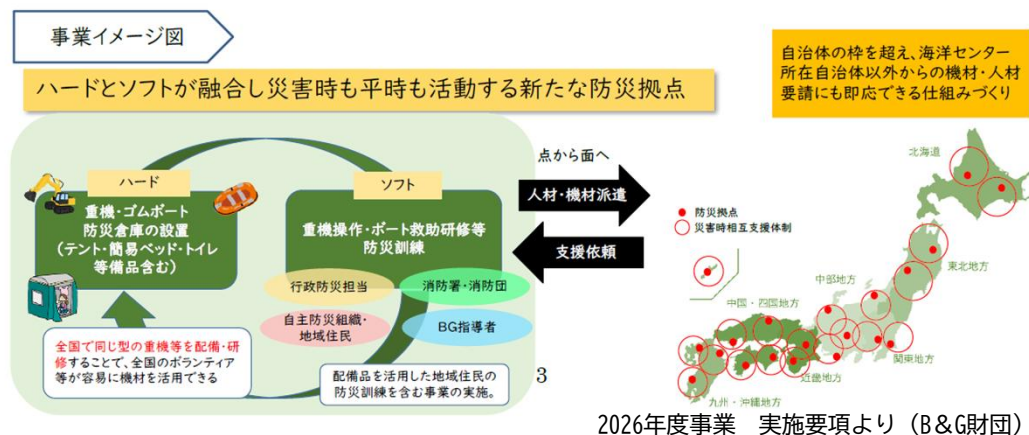
防災拠点に整備する災害発生時の緊急対応や避難所運営に必要な機材の購入、防災倉庫整備の費用支援  
 ※対象外経費（外構工事費、旧施設撤去費など）

		機材
必須	現物	スライドダンプ（油圧ショベル運搬用） 油圧ショベル（3トン未満）
	自治体選定購入	防災倉庫（設計・工事監理含む） 救助艇
任意		高所作業車

配備機材は災害時だけでなく、平時にも利用可

## ○災害時相互支援体制の構築

災害発生時に、防災拠点に整備した機材や研修受講者等により被災地に対し迅速な支援を行えるよう、災害支援業務のフロー化など災害時相互支援体制を構築



## ○人材育成事業（必須）【初年度から3年間】

※4年目以降も自治体で継続

防災拠点に整備した機材の活用等を学ぶ研修会に対する支援

- ・研修内容 「広域研修」「拠点研修」「避難所研修」
- ・研修回数 年6回以上
- ・支援費 各年度 上限300万円

## ●県内支援任意事業活用事例 全国39道府県、84カ所（2026年3月末日現在）

※東御市は長野県内4カ所目

- ・上松町（発電機、テントサウナ）
- ・大町市（クレーン付きトラック、非常用照明器、スタッドレスタイヤ）
- ・飯島町（災害用移動式トイレ、ポータブル非常用発電機）

## ●事業費（予算ベース） 45,508千円

### ・歳出

科目	主な内容	金額（千円）
報償費	重機操作研修	300
旅費	重機特別研修、広域座学研修	794
需用費	消耗品、燃料費	212
役務費	建築確認手数料	67
委託費	実施設計・工事監理、研修業務	3,650
工事請負費	防災倉庫設置	9,000
	外構工事・解体工事	14,000
備品購入費	高所作業車、救助艇、その他備品	16,990
負担金	重機操作資格取得費	495

### ・歳入

科目	主な内容	金額（千円）
B&G財団助成金	防災倉庫設置・高所作業車・救助艇・研修	30,000
緊急防災・減災事業債	外構工事・解体工事	14,000
一般財源		1,508

## ●事業スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R9.1月	2月	3月	4月
議会		補正予算・全員協議会										
公益財団法人B & G財団	申請	事業実施決定	決定書授与式（調整中）									協定書調印式・ 配備機材お披露目式 令和9年度（未定）
解体工事			入札・契約									
防災倉庫設置工事			入札・契約	実施設計・工事監理業務委託								
					入札・契約	建設工事						
人材育成事業 【令和9年度以降継続実施】			年6回以上実施									
												86

## ●防災倉庫設置場所 サンファームとうみ内



設置場所  
（既存の倉庫2棟、サイロ4  
基、雑木、付帯設備は撤去）

# 宿泊交流拠点施設の整備について

## 1 事業の進捗について

### 令和 8 年度実施の主な業務（予定含む）

時期	内容	概要	備考
4月8日	周辺事業者説明会	事業内容・受注候補事業者提案説明	8事業者参加
4月23日	宿泊交流拠点整備運営事業 基本協定締結	協定の相手方：株式会社ヤマウラほか6者	
5月1日	市報とうみ（5月号）掲載	事業概要、公募型プロポーザルの審査結果及び進捗状況説明	
5月19日～27日	R 8 年度 市政運営説明会（5地区）	事業概要及び進捗状況説明	197名参加
5月22日	プロモーション等業務委託 公募型プロポーザル	①首都圏等における食を中心とした観光資源のPRイベントの実施 ②Web及びメディア等を活用した情報発信 ③観光資源・意識調査 ④旅行商品の企画・造成・実施・流通・分析	受注候補者に株式会社JTB長野支店を特定
5月29日	宿泊交流拠点整備運営事業 基本契約締結	協定の相手方：株式会社F T T マネジメントほか7者	
6月中	設計・監理業務委託契約締結		
10月～11月	市民事業説明会		設計に基づく説明
11月中	建設工事請負仮契約締結		議会12月定例会 契約議案上程
R 9 年 1 月～	建設工事着工（用地造成工事）		

## 2 契約等の概要について

DBO方式は、施設の設計、建設、運営等を民間事業者が一体的に実施する方式であるため、個別の工事契約や運營業務委託契約だけでなく、事業者グループ全体の役割や責任関係を整理する契約体系が必要となります。

### （1）宿泊交流拠点整備運営事業基本協定（令和 8 年 4 月 23 日締結）

目的：事業者選定後、正式な契約締結までの間に締結するもので、選定された事業者グループを本事業の実施者として確認するとともに、基本契約、建設工事請負契約、運營業務委託契約等の締結に向けた手続、協力義務、構成企業の役割、契約不成立時の取扱いなどを定めるもので、事業者側の体制を確保し、構成企業の離脱や提案内容の変更を防ぎ、本契約へ円滑に移行することを目的としています。

相手方：株式会社ヤマウラ、株式会社第一設計、株式会社嶺水、株式会社竹花組東御支店、株式会社バンブック、株式会社インバウンドホールディングス、株式会社サンワックス

契約期間：令和 8 年 4 月 23 日から基本契約締結の日まで

主な内容：①施設の維持管理・運營業務を受け持つ特別目的会社（SPC）の持ち株比率など、②基本契約等の締結義務、③契約不調・違約の場合の取り扱い

## (2) 宿泊交流拠点整備運営事業基本契約（令和8年5月29日締結）

目的：DBO 事業全体を統括する契約であり、設計・建設業務、維持管理・運営業務を一体の事業として実施するため、発注者、建設事業者、維持管理・運営事業者、代表企業等の役割、責任、相互協力、リスク分担などの基本事項を定めるものです。特に DBO 事業では、設計・建設段階と維持管理・運営段階が密接に関連するため、要求水準書、事業者提案、各個別契約を相互に関連付け、事業全体として責任ある実施体制を確保することを目的としています。

なお、設計・工事監理業務委託契約、建設工事請負契約、維持管理・運営業務委託契約及び定期借地権設定契約とともに不可分一体のものとして本事業に関する契約を構成し、建設工事請負契約が東御市議会の議決が得られないことが確定した場合には、本基本契約は効力を失うものです。

相手方：株式会社 F T T マネジメント（SPC）、株式会社ヤマウラ、株式会社第一設計、株式会社嶺水、株式会社竹花組東御支店、株式会社バンブック、株式会社インバウンドホールディングス、株式会社サンワックス

契約期間：令和8年5月29日から本事業が全て終了するまで

主な内容：①構成企業グループの役割分担（第5条）、②共同企業体の組成（第6条）、③SPC 運営義務（第7条）、④基本契約と他の契約（設計・工事監理業務委託契約、建設工事請負契約、維持監理・運営業務委託契約）との関係（第8条）、⑤基本契約違反の場合の損害賠償（第14条）、⑥契約の有効期間（と解除事由）（第16条）

## (3) 設計・監理業務契約（令和8年6月中締結（予定））

相手方：株式会社第一設計、株式会社嶺水の設計 JV

期間：契約の締結日から建設工事請負契約満了の日まで

## (4) 建設工事請負契約（令和8年11月仮契約締結（予定）、議会12月定例会議決をもって本契約）

相手方：株式会社ヤマウラ、株式会社竹花組東御支店の建設 JV

期間：本契約の締結日（議会議決の日）から建設工事竣工の日まで

## (5) 維持管理・運営業務委託契約（建設工事請負の本契約締結後に契約締結（予定））

目的：要求水準、FTT マネジメントグループの提案内容に基づいた施設の維持管理・運営業務を SPC に義務付けることを目的としています。

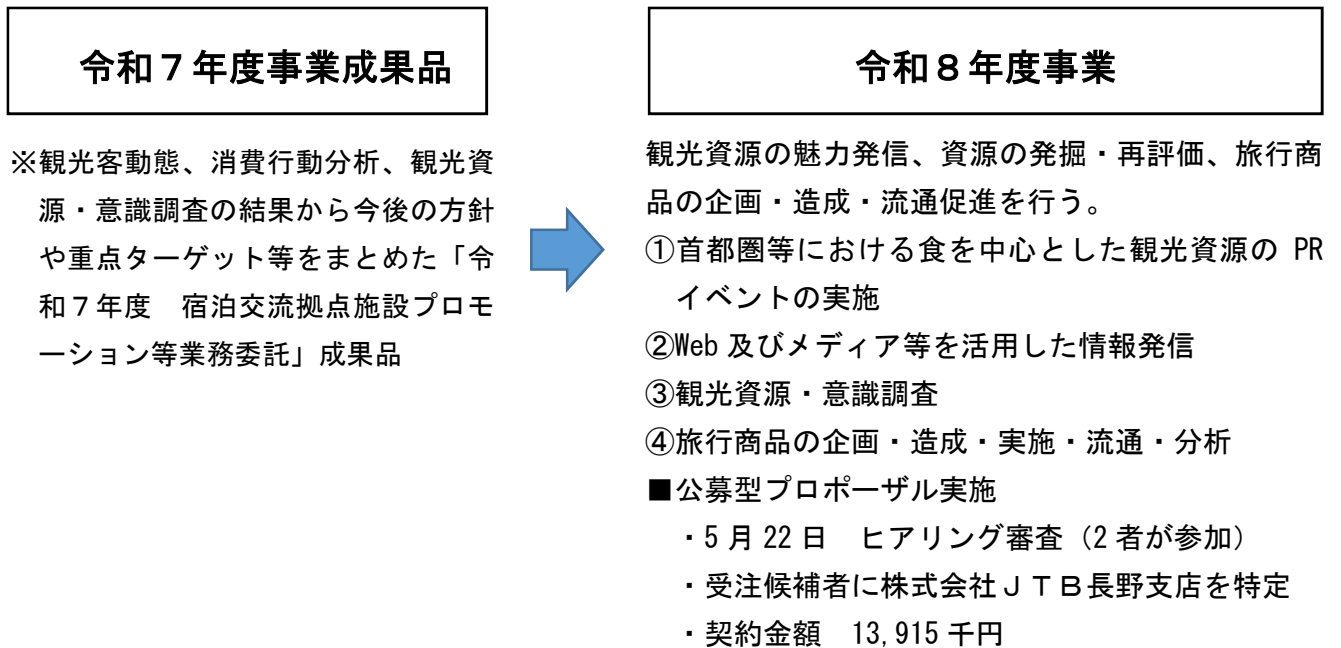
相手方：株式会社 FTT マネジメント（SPC）

主な内容：①要求水準、FTT マネジメントグループの提案内容に基づいた維持管理・運営業務の実施、②収益還元、③モニタリングの頻度等、④SPC が指定管理者として指定されなかった際の市の免責事項

※ 本契約は、公の施設の設置条例（R9.12月定例会上程（予定））及び指定管理者の指定議案（R10.3月定例会上程（予定））の議決が得られなければ失効するものです。

### 3 ソフト事業の進捗について

#### (1) 令和8年度宿泊交流拠点施設プロモーション等業務委託



#### (2) その他令和8年度実施事業及び契約

件名	事業概要	受託者・契約金額
令和8年度東御市地域ガイド育成事業業務委託	自然、歴史、文化、食、ワイン等の地域資源を案内できる地域ガイドを育成するため、育成プログラムの作成及び日本語編・英語編の研修を実施する。	【受託者】 (一社)長野県観光機構  【契約金額】4,642千円
地域資源を活用したツーリズム造成事業業務委託	地域資源やネットワークを活用し、グリーンツーリズム、ワインツーリズム、地域交通等を組み合わせた東御市版の体験メニュー及び旅行商品の造成、モニターツアーを実施する。	【受託者】 (一社)信州とうみ観光協会  【契約金額】990千円
東御市観光パンフレット作成業務委託	多様な観光資源やネットワークを再整理し、国内外の観光ニーズに対応した総合観光パンフレット及び多言語(英語・中国語・台湾語版)観光パンフレットを作成する。	【受託者】 (一社)信州とうみ観光協会  【契約金額】4,544千円

## 柵津湯の丸バイパスについて

### 【柵津湯の丸バイパス構想の概要】

起点：主要地方道丸子東部インター線と主要地方道真田東部線の交差点（インター北側交差点）付近

終点：主要地方道東御孺恋線と市道柵津 170 号線（通称さくら街道）の交差点付近

※ルートについては未定

### 【令和 7 年度の経過】

令和 7 年 8 月 5 日（火）柵津湯の丸バイパスアンケート結果報告会及び関係 4 区意見交換会

10 月 14 日（火）柵津地区地域づくり懇談会

令和 8 年 1 月 29 日（木）柵津湯の丸バイパス関係 4 区意見交換会（検討会の立上げを承諾）

---

### 柵津湯の丸バイパス構想検討会 設置要綱

#### （名称）

第 1 条 本会は、「柵津湯の丸バイパス構想検討会」（以下、「検討会」という。）という。

#### （目的）

第 2 条 検討会は、柵津湯の丸バイパス構想について、柵津地区の商業、工業、観光業、農業といった各種団体や P T A 等の代表者からなる検討会において、整備によるメリット、デメリット等を検討し関係住民にバイパス事業について理解を深めてもらうとともに、バイパス構想に関係住民の意見を反映させることを目的とする。

#### （組織）

第 3 条 検討会は、次の各号に掲げる機関及び団体分野で構成する。

- （1） 商業
- （2） 工業
- （3） 観光業
- （4） 農業
- （5） 柵津地域づくりの会
- （6） 柵津地区区長会
- （7） 柵津小学校 P T A 関係者
- （8） その他、市長が必要と認める団体

#### （構成員）

第 4 条 検討会の構成員は、市と構成団体の協議に基づき、構成団体が推薦した者のうちから、市が定める。

2 構成員は、検討会に出席し、意見を述べることができる。

3 構成員に欠員が生じた場合は、当該団体が後任を推薦する。

**(座長)**

第5条 検討会に座長を置き、構成員から互選する。

- 2 座長は、検討会の進行及び意見の取りまとめを行う。
- 3 座長に事故があるとき又は欠けたときは、あらかじめ座長が指名した者がその職務を代理する。

**(開催)**

第6条 検討会は、座長が招集する。

- 2 座長は、必要があると認めたときは構成員以外の者を会議に出席させ、その意見又は説明を求めることができる。

**(オブザーバー)**

第7条 検討会に、オブザーバーを置くことができる。

- 2 オブザーバーは、第2条に規定する目的のために必要な知識又は経験を有する者とする。
- 3 オブザーバーは、必要に応じ検討会に出席し、専門的な見地から助言又は協力を行うものとする。

**(事務局)**

第8条 検討会の事務局は、東御市都市整備部建設課に置く。

**(費用負担)**

第9条 検討会の運営に必要な費用は市が負担する。ただし、特別な経費を要する場合には別途協議のうえ定めるものとする。

**(その他)**

第10条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関して必要な事項は、別に定める。

附則 この要綱は、令和8年 月 日から施行する。

**【今後のスケジュール】**

- 6月5日(金) 祢津湯の丸バイパス構想検討会準備会
  - 6月9日(火) 6月議会全員協議会(検討会設立について)
  - 四半期程度ごとに構想検討会を開催予定(詳細なスケジュール、内容等については検討会で決定)  
(開催内容)意見交換会、学習会、ワークショップ等
- ※検討会後に、各会の様子を会報を通じて地域住民に周知予定

## 長野県による耐震改修補助金の算定誤りに係る対応について

### 1 概要

本市では、住宅・建築物耐震化促進事業について、国の社会資本整備総合交付金及び県の補助金を財源の一部として実施しています。

令和8年3月に、県より、県内自治体を実施する耐震改修補助金のうち除却に係る国交付金の交付率について、県が誤った解釈に基づいて、自治体へ説明しており、国交付金を過大支給しているとの報告がありました。令和5年度から令和7年度事業について、県内28市町村において算定誤りが発生している状況となっています。なお、県の補助金については、誤りはありません。

その後、県との協議を進めてきましたが、5月26日付けで県より、国交付金返還額と減少額について、県内自治体の損害として取り扱い、県が損害の全額を賠償することが示されました。

### 2 国交付金の算定方法

#### (1) 県の解釈

以下の①～④のいずれか低い額

- ① 床面積×交付対象限度額の2分の1
- ② 地方公共団体が補助する額の2分の1
- ③ 国の要綱上の限度額（419,000円）
- ④ 所有者が工事受注者に支払う額の2分の1

#### (2) 本来の方法

以下の①～④のいずれか低い額

- ① 床面積×交付対象限度額の23%の2分の1
- ② 地方公共団体が補助する額の2分の1
- ③ 国の要綱上の限度額（419,000円）
- ④ 所有者が工事受注者に支払う額の23%の2分の1

### 3 本市における対象件数及び額

#### (1) 対象事業

建築物耐震改修補助金のうち、耐震基準を満たさない住宅の除却に対する補助  
(工事費の2分の1、上限838千円)

#### (2) 年度別の件数と返還額及び減少額

- ・ 令和5年度分：補助実績無し
- ・ 令和6年度分：1件、162,000円（※返還額）
- ・ 令和7年度分：2件、419,000円（※減少額）

#### 4 県の対応方針（5月26日付け依頼）

##### （1）国交付金返還額と減少額の取り扱い

県内自治体の損害とし、和解の手続きを行うことで、県が損害の全額を賠償する。そのために県議会6月定例会に必要な議案を提出するとともに、知事専決による賠償についても準備を進める。

##### （2）過年度分の国交付金の返還

令和5年度及び6年度分の返還については、国の返還命令に基づき、県内自治体から国へ返還を行う。返還命令については、実際には県が事務手続きを行うため、県内自治体の返還金の予算措置の時期に応じて命令日を調整する。

#### 5 本市の対応

##### （1）本市における国交付金返還額と賠償額

国交付金返還額：162,000円（令和6年度分）

県からの賠償額：581,000円（令和6年度分返還額と令和7年度分減少額の合計）  
年度ごとの財源内訳の増減は下表のとおりです。

単位：千円

	当初（誤り発覚前）				実績（誤り発覚後）				増減（調整額）			
	事業費	財源			事業費	財源			事業費	財源		
		国	県	市		国	県	市		国	県	市
令和6年度	1,676	838	419	419	1,676	676	419	581	0	△162	0	162
令和7年度	1,550	775	387	388	1,550	356	387	807	0	△419	0	419
合計	3,226	1,613	806	807	3,226	1,032	806	1,388	0	△581	0	581

※1）令和6年度の国交付金の減額については、返還の対象額（6月補正予算へ上程予定）

※2）令和7年度の国交付金の減額については、実績報告にて減額調整済み（令和7年度補正予算（第11号）にて、国交付金の減額分に対し一般財源を充当済み）

##### （2）対応に係るスケジュール

###### ア 損害賠償の額の決定に関する手続き

6月3日（県の指定日） 損害賠償の額の決定に関する専決処分

6月4日（市議会開会日） 市議会への専決処分の報告

###### イ 全員協議会（6月9日）での事態の説明

###### ウ 返還金と損害賠償金の予算措置

6月議会において、歳入として損害賠償金 581,000円、歳出として返還金 162,000円の補正予算（2号）を上程させていただき予定です。

###### エ 国への返還及び損害賠償金の受領

返還命令に基づき、国へ令和6年度分の返還を行った後、県から損害賠償金を受領します。